京城日報

廿八日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘
廣告料
京城太平通一丁目
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　谷口政太郎
發行所　合資會社　京城日報社

◎日本に反對諸點の修正　米國上院移民委員會の同意

華盛頓來電に據れば上院移民委員會は目下懸案中の移民法案中日米紳士協約に抵觸し日本に反對する諸要點を修正するに同意せり（紐育電報）

◎英內閣機宜を逸す

米國聯合通信社倫敦通信員は英國內閣は機宜を逸したる旨を確報せり（紐育電報）

◎全愛蘭に戒嚴令を布く

首相アスクイス氏は下院に於て報じて曰く愛蘭動亂の形勢は明白ならざるも戰鬪は今猶ダブリン市街に於て行はれつゝあり且動亂は漸次他の諸地方に漫延しつゝある徴あるを以て全愛蘭に戒嚴令を布けり（倫敦電報）

◎在獨米人の引揚

多數の米國人は米獨兩國間の國交斷絶を憂慮し同國を引き揚げゼネヴァ及びコッペンハーゲンに到著せり（紐育電報）

◎獨宰相米大使の會見

アムステルダム來電に依れば獨逸宰相ベートマン、ホルウエッヒ氏は駐獨米大使と長時間に渉る會見を遂げたるが其後獨逸海軍々令部長及び幕僚と共に大本營に赴きたり（倫敦電報）

◎米獨交渉解決の見込　獨逸系米人の反對運動

伯林來電に依れば米國が獨逸に對して發せる通牒中貨物船に關する項が今尚ほ行惱みとなり居れる模樣なるも之れとて解決の見込付き國交破裂に至るが如きことなからんと信ぜらる而して米國に於ける獨逸系米人は選出議員を擁して組織的に大統領に反對運動を繼續しつゝあり（紐育電報）

◎財政難と南北統一政府

袁總統實權の有無は第二として袁總統の職にある間は外國借款は到底不可能にして新政府成立するも外人は依然舊政府と同一視し如何ともすべからず段國務卿は第一の難關たる財政を整理せざる以上は時局の收拾困難なりとして從來政見を異にせる梁士詒氏に依賴し財政補給をなすの一面速に南北統一政府を成立して外國借款を得んと顧慮し居れり（北京特電）

◎石原宮內次官

朝鮮離宮地の用件にて渡鮮の途に上れる石原宮內次官一行二十八日午前六時大阪通過西行せり（大阪特電）

◎日露連絡會議閉會

今回の日露聯絡會議に附議したる問題は一般的のもの六、兩國關係のもの五、貨物關係のもの三十二にして之等各種問題に就き英文及び露文の議定書を作成し彼我對照の上二十八日午後一時本會議を開き委員之に署名し閉會せり次會は來年十一月露都に於て開會するに決し露國委員一行は廿九日午前八時出發京城に於る日露支聯絡會議に出席の筈なり（東京特電）

◎原政友會總裁

原政友會總裁二十八日午前大阪著花屋に入る總裁は當地にて政友會評議員會に臨席し二十九日實業家の招宴に臨む可し（大阪特電）

◎中谷氏の特赦

中谷前代議士は二十八日特赦の恩命に接したり（大阪特電）

◎客月の經濟界

內地米價は依然安値唱にて移出不引合なりしが四月より運賃率引上に誘はれて相當取引行はれ、且つ大豆、牛皮の出廻增加したるに依り輸移出額は三百八十九萬圓を算し、前月に比し六十六萬圓、前年同月に比し四十九萬圓の增加を示せり、而して季節柄支那麻布、綿布類其他先高見越の思惑仕入ありたると軌條及び雜品に於て相當輸移入ありたる爲め輸移入貿易額は五百八十五萬圓に達し前年に比し百十三萬圓、前年同月に比し百六十萬圓を增加せしと雖も、物價騰貴の爲め一般購買力を減殺して商品の賣行捗々しからず、市況亦不振にして銀行金利の引下も左したる影響なく民間貸出金は前月に比し甚しき增減なきも年度末の事とて政府其他の仕拂金多く民間預金は前月に比し百二十三萬圓を增加し金融益々緩慢の度を加へたり

◎中樞院會議

中樞院にては二十八日午後二時より同院會議室に於て中樞院例會議を開き寺內總督以下同院顧問、贊議、副贊議、小松書記官長等出席、午後四時閉會したり

◎定例長官會議

二十九日定例長官會議なるより寺內總督以下各部長官、局長、所屬官署長官等は午前十時より總督府第一會議室に參集、通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

◎軍旗奉授式

步兵第七十八聯隊にては五月一日午前十一時より龍山步兵聯隊に於て軍旗奉授式を擧行し正午より更に第十九師團司令部に於て開廳式を行ひ祝宴を催す事となれり

◎新師團開廳式祝賀

三十日午前十一時より擧行す可き新設師團の軍旗奉授式並に師團開廳式に關する龍山有志の打合會は二十七日龍山にて開會せり其結果當日に公立學校生徒約四千人も參列する筈にて生徒は奉授式及び開廳式に參列したる上司令部前の大廣場に集り萬歲を三唱すべしと尚ほ市中は騎兵練兵場に於て各種の餘興を行ひ煙花の打上等も行ふことに決定せり

◎除署長會議

前日に引續き京城廳內除署長會議は二十八日午前中京畿道警務部に於て開會されたり

◎李王殿下訪問

昌德宮李王殿下には二十八日午前一時出門德壽宮を訪問せらる

◎李埈公午餐會

李埈公殿下は二十九日正午同公邸に於て午餐會を開き寺內總督を招待あり小松中樞院書記官長、兒玉總務局長、森、高橋兩武官、池邊秘書官、大藤國官等列席す可く尚ほ若干の朝鮮貴族も陪席の筈なり

◎勸銀總裁旅程

勸業銀行總裁志村源太郎氏は二十八日夜入京の筈なりしも其後視察の豫定を變更し二十七日夜光州より木浦に向ひ二十八日は同地視察、二十九日午後九時南大門驛著汽車にて入京に決せり

◎東拓決算査了

東洋拓殖會社の大正四年度決算檢查は松平監事の手により二十六日以來執行中なりしが二十七日終了せしを以て總務部にては二十八日より總會提出案の整理作製に著手したり

◎松平子開城行

入京中の東拓監事松平子は二十九日午前出發開城に於ける移民狀況及び同地視察の爲め出向三十日歸京すべしと

◎足立殖產課長出張

東拓殖產課長足立は黃海道の所有地に關し取調べの必要を生じ二十九日朝出發往復十日の豫定にて出張する由

◎鮮農會補助交付

朝鮮農會にては從來會報發刊費として總督府より年々二千圓の補助を受けつゝありしが本年も同額を補助さるゝこととなり過般既に其交付を了せり

◎判任見習口頭試驗

九日擧行せる判任官見習筆記試驗の合格者內鮮人七十八名に對する口頭試驗は五月四日午前八時より京城專修學校に於て執行の事となり總督府にては受驗資格者に對し二十八日其々通知を發せり

◎藥劑師試驗規則

總督府にては二十八日付を以て藥劑師試驗規則を發布せり、同規則は全文九條より成り五月一日より實施の筈なり

◎看護婦養成規定

總督府醫院及び道慈惠醫院助產婦看護婦養成規程は二十五日附府令を以て發布されたり、本規程は全文十五條より成り發布の日より施行されたり

◎朝鮮人移民團南下

二十八日午前八時三十分鮮人移民團六十八名安東驛より乘車內二十七名は太田四十一名は湖南道に向け南大門驛を通過せり

春川

▲醫專校出發　春川守備隊より原隊九龜步兵第四十四聯隊へ歸還の田岡大尉、西中尉、宇野中尉の三將校は廿三日午後三時發自動車にて出發せり當日雨天にも拘らず官民の見送盛なりし▲國井書記歸國　春川慈悲醫院會計係なりし書記國井民藏氏は今回家事上の都合により辭職の上歸國する事となり二十三日自動車にて鄕里福島に向け出發したるが官民の見送盛なりし▲學校組合豫算　大正五年度春川學校組合費は戶數三百三十戶に對し二千四百四十二圓の賦課にして一戶平均負擔額は四圓十一錢八厘なるが歲入豫算額は經常部に於て二千八百四十圓（前年度に比し二百六十四圓減）臨時部に於て二千四百七十六圓（前年度に比し一千六百六十九圓增）合計五千三百十六圓にして前年度に比し一千四百零五圓の增額となる而して歲出經常部の豫算額は四千零五十一圓（前年度に比し五百四十一圓增）臨時部に於て一千二百六十五圓（前年度に比し八百六十五圓增）合計五千三百十六圓にして前年度に比し一千四百零五圓の增額なるが今回組合議員討議の結果は大體に於て原案の如く通過したるを以て其筋へ認可申請中なり尚ほ從來懸案中なる校舍增築は經費の都合上未だ實行を見ざるが地方の發展に伴ひ入學兒童も前年に比し二十餘名の增員を見るに至り自然敎室の狹隘を來し校舍增築は目前の急務として當局に於て其々考案中なりと

公州

▲農業技手等會議　忠淸南道管內各郡農業技手米穀檢查員及び產業傳習所長二十三名は二十四日道廳會議室に集合二十八日迄五日間指宿技師統裁の下に會議を開きたり尚ほ總督府よりは三井技師臨席せり因に本道にては從前各郡に二三名の農手を駐在せしめしも今回更に內地人農業技手一名づゝ駐在せしむることゝなれり▲花の都と化す　種苗場、農林學校、殖林苗圃、雄心閣、公論街道、公州街道數千の櫻樹は數日來の降雨にて全く蕾綻び昨今見頃にて三々伍々杖を曳くもの引きも切らず今や公州は花の都と化し了りぬ殊に自動車を此處に馳らさんか恰も櫻の隧道を過ぐるが如し▲改良米種作計畫　忠淸南道にては兼ねて改良稻早神力種の年々品質惡變するを憂ひ原種圃設置の計企ありし處愈よ今春より管內論山郡夫赤面臺馬九年に五町步の原種圃を設置し其より純良種子百石を採取し之を大正六年各郡面採種圃二百町に移し良好種子六千石を採り大正七年には一萬二千町步畓に栽培せしめん計企にて已に原々種は數年前より道種苗場にて選種し原種圃の整理も完備せり此計企は年々繰返し行はるゝ事なれば數年の後には忠淸南道產米は著しく品質向上し收穫に於ても數割の增收疑ひなかるべく別項郡技手配置と共に更に治績顯著となる可し

光州

▲郡書記異動　本道內に於ける郡書記異動は豫て傳へられたる所なりしが愈々今回左の諸氏發官されたり
光陽郡大杉英三▲長興郡冬木蔦明▲靈巖郡江口保孝▲長城郡瓜生定吉▲谷城中谷盛彥▲麗水郡岡田一三▲濟州島
▲記念章拜受者　御大典記念章を拜受すべき本道內居住者は總計六百七十二名にして內官吏側百三十八人、民間側四百九十七名にて道廳よりは其々各郡に發送せり▲光州招魂祭　光州在鄉軍人主催となり來る卅日公州公園に於て招魂祭を擧行すべく計畫せるが二三日中官民の打合會あるべし▲長官歡迎會　宮木新長官歡迎會は來廿七日午後六時半より北村樓に於て開會の筈にて目下贊成者を募りつゝあるが多數の出席者有る模樣也▲軍旗遙拜式　第八十聯隊の新軍旗は廿一日大邱聯隊本部に到著せしを以て二十五日之が授與式擧行の由にて光州第三大隊に於ても同日午前九時之が遙拜式を執行せり▲光州保護會　光州に於ける出獄人保護會は二十九日午後一時より監獄內武術場に於て評議員會を開く由にて評議員會終了後武術大會開會の筈▲光州デー成功　光州日報主催の第三回光州デーは廿二日より三日間演劇會を開き讀者招待を爲し廿三日は雨中に拘らず大運動會を開催せしが雨中の事とて例年の如くは興なかりしも兎に角一時の雜沓は夥しく演藝會は亦三日間とも大好評大入にて兎に角成功の裡に終了せり

木浦

▲水產會社總會　木浦水產會社にては二十五日午後一時公會堂に於て株主總會を開き山野專務より第十期營業成績及び長城寒天製造所の狀況に付詳細報告し配當案年一割を附議し可決し引續き臨時總會を開き監查役の改選を行ひ松井邑次郎、藤森利兵衛の兩氏重任したり▲軍人會基金　在鄉軍人會木浦分會にては會員の定期會費徵收を避け益々會の眞目的を發揮する爲め過般來基金蓄積に關し協議中なるが其後分會特別會員福田有造氏の百五十圓同木村健夫氏の百三十圓及び會員森田泰吉氏の百十圓等引續き非常の厚意を以て快諾を與へらるゝ向き尠からず旁豫定の金額に達するは至難ならざるべく目下塁分會長以下役員諸氏は熱心に奔走中なり▲木浦精米高　當商業會議所調查に依る三月中の木浦各精米所の精米高は七千四百八十石にして一月以降累計一萬九千四百七十石に達したるが之を昨年の同月に比すれば六百六十二石を增加し累計に於て二百九十九石の增加を示したり▲牛皮乾燥場　木浦牛皮組合は昨年略成立し目下規約起草中なるが組合員は十四名にして企四百圓餘にて屠獸場附近に設置し一定の料金を徵して牛皮の改良統一を圖るべしと

金烏山

▲宿驛發展豫想　慶北金烏山驛は京釜線路變更の結果今秋より廢驛となる爲め世間には悲觀するものあれど實際は然らずして從來鐵路により運搬されたる貨物も廢驛後金烏山を通じて金泉星州、龜尾地方へ集散すべきを以て金烏山は將來宿驛として發展する所に至る可しと▲水鉛鑛著手　金烏山驛を南に距る約二十丁、領岩山麓に水鉛鑛あり京城和田商會の經營により奧田技師擔任昨十二月六日より發掘著手目下金烏山に事務所を設立し著々進捗しつゝあり

大邱

▲聯隊設置祝賀　廿七日午後三時より大邱達城公園に於て第八十聯隊設置大祝賀會を開く參會者四百五十席定まるや君が代合唱、小倉期成會長の式辭、白井四十旅團長の答辭に次で開宴し鈴木慶北道長官の發聲にて大元帥陛下萬歲三唱、淺野在鄉軍人分會長發聲帝國陸軍萬歲三唱小倉期成會長發聲第八十聯隊萬歲三唱、安原第八十聯隊長發聲大邱萬歲三唱あり餘武會主催の擊劍其他素人相撲、藝妓の手踊等ありて頗る盛會を極めたり因みに旅團期成會は滿場一致の決議を以て寺內總督、上原參謀總長、陸軍大臣、井口駐劄軍司令官に宛て「軍旗授與の好機に際し只今兵營設置一大祝賀會を開き滿場の決議に依り謹んで閣下の御好意を謝し併て御健康を祝す」の電報を發せり▲鈴木長官披露宴　鈴木新任慶北道長官は廿八日午後七時より大和に於て官民有志を招待し新任披露宴をなせり▲大邱分會總會　帝國在鄉軍人大邱分會にては來る三十日達城郡達西面頭龍山陸軍射的場に於て第五回總會開會並に射擊會をなす筈▲安東慈惠醫院長歸安　本月初旬以來視察の爲め內地へ出張中の處二十七日來邱二十八日歸安せり▲安井書記赴任　新任慶北道書記安井甫喜氏は二十七日來邱道廳と事務打合の上二十八日任地に出張せり

釜山

▲梵魚寺新道路　南鮮の名刹慶南東萊郡梵魚寺に通ずる道路としては府山街道に依るものにて同街道より同寺院に至る迄の山路を今回開鑿する事となり東萊郡廳にては廿三日より工事に著手し本月末迄には全部竣工の豫定にして同道路は三間巾なれば山門迄人力車の通ずる筈なり▲連絡船長の任命　關釜連絡航海に從事する事に決したる櫻丸は愈々五月一日頃初航として週航する筈なるが同船長には高麗丸船長服部榮太郎氏任命されたる由にて高麗丸後任は壹岐丸の橫尾德則氏壹岐丸の後任は新羅丸一等運轉士牧林愛之助氏何れも轉任に決す▲東萊と溫泉場道路　慶尙南道東萊郡東萊面南門邑內よりは府山街道開鑿せられたるも未だ溫泉場に通ずる道路なく故に雨季の場合は全然交通杜絕の有樣にて同溫泉場より邑內に行通する者は勿論不便を感じ居りたるが同通學する學童の如き爲めに休學する事多きを以て今回有志家及び學校組合にては種々協議の結果府山街道の中間校洞より溫泉場東側に通ずる河畔堤防を利用し新に石橋を架し道路を開けり▲東萊郡溫泉場の石橋　東萊郡溫泉場電車停留場より蓬萊橋の東詰に出る幅一間半の新道に通ずる永久的石橋架設費は本道廳よりの補助を受け二月以後工事を急ぎつゝありしが去る廿二日第一橋なる蓬萊橋は竣工せしが第二橋なる井橋は目下工事中にて六月上旬には全部竣工すべしと而して兩橋の橋名は佐々木道長官の命名に依り▲移出牛檢疫所增築　朝鮮牛の移出檢疫所たる東萊郡赤崎島の同牛舍は昨年規則改正の結果收容に不足を告げ移出に多大の支障を來すに鑑み同所經營者朝鮮興業會社にては更に牛舍四棟を增築する事に決し同敷地用として海面千四百坪の埋築を其筋より認可ありたるを以て廿六日同社釜山支店にて工事請負の入札に附したり

人事消息

▲久米邦[illegible]（[illegible]）廿八日より慶尙南道方面へ出張五月二日歸任の豫定
▲中野碌氏（土木課技師）二十八日東京大阪神戶並に福岡縣へ出張
▲今野清氏（山林課技師）二十八日京畿道抱川郡へ出張
▲本田親茂氏（代議士）二十八日朝入京
▲和田猪四郎氏（工學博士）入京中の處二十八日夜內地へ
▲竹內鶴彥氏（同）二十八日夜慶南道へ
▲松永武吉氏（京畿道長官）二十七日夕水原より歸任
▲岡本前商議社員　二十七日夕入京巴城館へ
▲本多代議士（鳥取縣）二十八日午前入京
▲島田志良氏（遞信局監理課長）二十八日午前發安東縣に出張す
▲廣江澤次郎氏　二十八日夜南發內地に赴く

◎馮國璋より三氏に打電

北京來電に據れば馮國璋氏は段祺瑞、黎元洪及び徐世昌の三氏に對し今や各省の狀勢は排袁總統熱其極に達し若し袁氏にして退職せざる際には各省は相呼應して斷乎として獨立するの決意を示せり云々と打電せり（東京電報）

◎馮氏副總統の野心

北京來電に據れば馮國璋氏は段祺瑞氏を總統に押し自ら副總統たらんの底意あり（東京電報）

◎英國政府の鐵應需

英國政府は可及的我國の鐵類の需要に應ずる旨を回答し來れり（東京電報）

◎米國の武裝船搭乘差止

紐育來電に據れば米國政府より這回武裝船搭乘差止令發布されたり（東京電報）

◎內閣會議開催

廿八日午前十時半より內閣會議を開催し石井外相の外交事項及び一木內相の臺灣視察報告等ありたり（東京電報）

◎インキ記入不通

遞信省に於ては小切手にインキにて記入したるものを不通となすことに決定せり（東京電報）

◎知事更迭決定

廿八日の閣議に於て知事更迭の件決定せり五月一日附を以て發表の筈（東京電報）

◎滿鐵資金不足

滿鐵會社に於ける新規事業資金八百萬圓の不足を生じたり（東京電報）

五流の御能台覧
皇后宮去年の盛儀を偲ばせらる

昨秋大典後宮中に於て天覧能お催しの爲め新に宮中正殿の御庭に建造ありし能舞臺の處置に就ては既報の如く明治神宮へ御寄進相成るか又は華族會館へ御下賜相成るべく宮内省當局者間に於て專ら詮議中の處今回愈々取壞ちて華族會館へ下賜の事と決定したり昨秋お催しの際は

▲皇后陛下には 青山御所の御産殿にあらせられ台覽なかりしが陛下には五流の各家元畢生の妙技を揮ひし盛事をいと懐かしまれ一度當夜の盛の演能を御覽ありたき思召あり華族館へ御下賜に先ち來る二十九日午後一時より

▲五流の各家元 を宮中に召し去年の盛儀を今にして台覽あらせらるゝ事となれり、其番組左の如し

△御能「安宅」梅若万三郎、寶生新「松風」松本長、野島信「小鍛冶」金剛金之助、尾上始太郎 △狂言「素袍落」山本東次郎「宗論」井上菊次郎 △仕舞「土車」梅若六郎「玉葛」金春榮次郎「玉之段」喜多六平太「太鼓」野口政吉「春榮」觀世元滋「殺生石」金剛右京 と確定したり、尚ほ右演能中に一時間の御休憩あり、七時頃を以て全く濟了の筈なるが當日 皇后陛下には聖上と御同列にて御覽あらせらるべしと仰ほ此日第

▲十五回御誕辰 に當らせらるゝ東宮殿下を始め皇子、各宮、各妃殿下並に姫宮方其他親任官、宮内官を御召し遊ばさるべきも昨秋の如き儀式上の御催しに非ざれば各方面の御召しは之無し、右御能終了後宮中に於て一同御晩餐を賜はるべしと

鼠一疋通さぬとは
物々しい上海の警戒

上海の此頃の警戒の物々しさは實に言語道斷の有樣で住民は非常に困り切つてゐる其一例を云はうなら毎日

■夜の六時後に なると各官廳附近といふものは總て武裝著劍の兵士が頑張つてゐる人も車も通さない殊に十二時過ぎになると全市交通遮斷して了つていき物と云へば鼠一疋の通過さへも許さない程の厳しさである電車の如きも午後七時以後は風呂敷包み携帶の客は全部乘車を謝絶する上稅關の橋とか新埠頭とか云ふ軍事上重要な場所には停車せずしてドン／＼飛んで行つて了ふ勿論是は革命黨の

■爆彈投下豫防 でもあるが之が爲めに受ける人民の不便は並一通りではないのである又街上の電燈の暗い事は革命黨に飛躍の機會を與へるものであるといふので昨今頻りと職工を督勵して不良街燈の取替へ工事に著手して居る其から一面袁政府では北方の各省から選拔した新等探偵百五十名を近々上海に應援として派遣して其れを五人宛一組として一人の革命黨員を檢擧したら銀七十弗を賞與にやると云ふ訓示を與へて

■探偵等を奬勵 鼓舞して居るから此探偵等の活動には流石の革命志士連もつく／＼閉口し切つて居る此間も可笑しかつたが路上で此連中の網に懸かつた一靑年は身體檢査を非常に拒むので的切兇器所持の革命黨と認定されて本署へ引致して強制的に檢査せられた所が懷中から浮世畫が六枚出たと云ふ噓の樣な話があつた(上海)

花賣

一塊の重石に關する犯罪
重石に釣り出されて大損をした山師がある
＝松寺檢事正談

朝鮮も近頃タングステン熱が恐ろしくメートルを上げて來た爲め從つて重石に關する犯罪もポツ／＼現はれ又將來も出でんとしてゐる

タングステンの鑛石の盜掘や それから重石を掘つて 圖めてゐる奴を密つさ

盜んで行くと云つた風の曲事は敢て珍らしい事でもないが中には此の熱を利用しタングス中毒者を酷い目に遭はした例もある、何でも小才の利いた一鮮人は上等のタングステンの鑛石を六七塊何所でか求め其中の四五塊を忠北の或る山中に隱し措て殘りの一二塊を京城の山師たる某内地人に示し『どうです悉皆立派な重石山がありますお買入になりませぬか』と云つた調子に勸めたらしい

山師先生閙された重石の一塊を仔細に調べると タングステンの含有も多く有望らしいから早速草鞋の紐を締め玄能を腰に差し件の鮮人を東道として忠北に向つた、所で胸に一物ある鮮人は或る山麓に立ち此の山を超えて今一つ越えた所の山がそれですとか何とか巧く云つて逃げ山師内地人がヘト／＼に疲れてもう動けなくなる頃迄盛んに山道を引き廻し結局此の谷を向ふに行つた所が鑛石の露出所ですお疲れなら私が鑛石を打割つて參りませうと

猿のやうに谷を渡り隱して ゐた鑛石の五六塊を 携帶くさ鮮を內地人より受取り

汗水流しつゝ運んで來た、山師先生亦之を見れば紛ひない立派な重石の鑛石だから騙されたとは氣も付かず其の山及び山の附近を高い値で買つて終つた、措て之れから一儲けと其の採掘出願の爲め調量や更に實地の檢分に人を雇ひたる上やらすると漸く怪しい重石山の本體が現はれ茲に一杯喰はされたかと地團駄踏んでも跡の事搾つた採んだの末詐欺の告訴を提起したのは近頃である、重石熱の醒めない間は恁うした鮮人の惡計は續いて出るだらうと思はれるから鑛山家諸君も御注意肝要と思ふ

それから吾輩の注目に値すると 思ふのは四月一日より 盛んに出願の形となつた重石鑛が盛な許可になつた曉きである、出願者の願願を見ると隨分一鑛區に對し競願がある而して其の出願者中には資力の怪しい身元の餘り立派でない御連中も見ゆる其連中が說明に打御たなかつた待臣んな結果となるであらう、印紙代測量製圖加ふるに出願鑛區一部分の買收旅費と何れも名を鑛區出願に連ねた人は出費少なからぬ事だつたらうと思ふ、而して目指せる虎の子のやうな鑛區は他人の手に落ちる 矢道さ殘醜さ其の我ふ劍鐵の 輕からざる事察すべしだ、苦しさの餘り軌道を踏み外し脫線しはせぬ乎或は詐欺などの手に出づるやうな事はないか、吾輩は資力の薄い人々が鑛山に手を染むる事は絕對と云はぬけれど止められたが好い實際面白からぬ現象と思ふ、鑛山はまお暇へて云へば一か八かの事業である其の事業に乏しい財囊を空にし又小さい信用を破つて終ふ迄に腰を入れるのは斷じて著實な事業であるまいと思ふ

スミス氏の夜間飛行

スミス氏は二十七日午後八時五十五分より鳴尾に於て夜間飛行宙返りを六回演じたり日本に於ける最初の試みとて觀覽者數萬に達し歡呼湧くが如し(大阪特電)

三日見ぬ間の櫻かな

加五里の花は、今月末から來月初めまでが眞つ盛りです、若しも、此の三十日の日曜を外したら次の日曜(七日)では乍殘念後れます。朝鮮の春は短かく、行樂はほんの束の間です。

加五里の花と牛耳洞の花

春宵一刻値千金、燭をとつても古人は花に名殘を惜みました。

加五里には牛耳洞と同じく、お花見の客には決して不自由のない設備があります上戸にも下戸にも、何不自由はありませぬ。

お辨當でも お壽司でも お汁粉でも 水菓子でも ビール、燗酒、さてはサイダー

又加五里ではお客樣の爲に人蔘湯やお茶の接待所もあります。

倘加五里では餘興として寶探しや、朝鮮固有の弓術、揮毫其他さまぐの催し物があります。

花に浮かれ、人に酔ふ、三十日の日曜は又とない花見デー。夜半に嵐の吹かぬものかは。

お出でなさい加五里に!!!

數十名で娼妓を袋叩き
娼妓組合事務所を襲ふ

京城西四軒町申潤相(二〇)光熙町二丁目黃贊哲(二〇)東四軒町吳鐵永(二八)並木町朴明浩(二三)等は並木町の織紐工場の職工なるが本月十一日夜並木町の蝎甫屋趙元珠方に赴き趙元珠が內地人客と同衾中を知り閉さしある扉を押し開きて侵入して狼藉を働くより客は其の儘逃げ歸りたるが此の騷ぎに隣家の蝎甫屋吳明根なる者が起き出でて同人等を制止し尙本町署の警官も出張して同夜はその儘立歸りたるに前記の四名等は織紐工場及び同町なる製靴工場の職工多數と諜し合せて數十名徒黨を組みて十二日の夜吳明根方に赴き復讐行爲をなさんとて同人を搜索したるも行衛不明なるより更に多數の者は鋒先を轉じて並木町所在の娼妓組合事務所を襲擊して同所に蟄伏中なる吳明根を引き出して同人を袋叩きにして負傷せしめたるため本町署に檢擧され取調中なりしが主唱と目さるゝ十六名は二十八日檢事局に送られたり

疊の下から金三十五圓

京城長谷川町朝鮮ホテルの主廚なる中井某は廿六日春季淸潔法實施の爲め自宅大掃除を行ひ同午後に至り疊の下に仕舞ひ置きたる現金三十五圓を失したるに氣付き屆出でに依り本町署より刑事出張して取調べたるに同日は多數の人夫を使役して疊を內庭に日曝したる際窃取されたるものと知れ該人夫を嚴重取調べの結果高陽郡漢芝面屯美里の人夫金仕成(二七)の仕業なりしこと判明し同人は右の現金を裏手の庭の中に穴を掘りて埋沒し居るを自白したるが尙取調中

◎花見酒の祟り

龍山彌生遊廓君の家抱娼妓一九事大野靜(二二)は數日前に馴染客に伴はれ區域外の同所後方の山麓に至り花見酒としやれてゐると通り合はせたる同遊廓喜樂の抱娼妓小富事山下はつかめ(二三)も是れに加はりて騷ぎ居たる所を元町派遣所員に認められ兩名共拘留處分となりたり

◎屋根墜落して即死

平壤府巡營里大工職韓致善(四八)は廿四日同里李誌永方に雇はれ柱の取替中午後三時頃屋根墜落して避難の隙なく其の下に壓せられ頭を打ち碎き無慘の即死を遂げたり

◎今が眞盛りの纛島の櫻
漢江を越えて花の奉恩寺へ

纛島は頃日花盛り、あの廣い漢江河畔の沃野には靑い麥畑や柳の間に櫻花や桃が咲き亂れて居る、また勸業模範場の畑には

□滿樹白雪 のやうな李の花が咲いて樹の側に立つと香水を打ちまいたやうな芳香が漂ふ、併し纛島の百町歩に餘る果樹園がすつかり花さなるのは少くとも五月の

□二四日頃 であらう、元來朝鮮では桃や櫻よりも寒氣に敗けぬ梨と苹果の花が一番多い、纛島の名物は梨と苹果の花畑であるからこれからあたり一帶

□花見客で 賑はふ事であらう久次米場長のはなしでは今年は冬季の氣溫が暖だつた爲め一般に櫻も桃も花が大きく且つまた苹果や梨の花も非常な美しい當である、五月三四日の滿地雪の如き眺もさる事ながら

□今年の花 では秋の收穫も意想外たらう、纛島の春色を探られた人は更に漢江を渡つて奉恩寺の幽邃を訪はれるが好い、道は模範場前から眞すぐに河畔に出て

□其處から 對岸に渡ると僅か二十町ばかりで往かれる、また船によれば三十分許りで寺の直下に著く事も能きる、寺は京畿道の總本山で附近には蒼鬱ほ暗き大森林もあり林の中はまた靑々しい鮮苔に敵はれ

□水原華山 よりも大きな陵がある、今年は京日から寄贈した吉野櫻も滿開で南山葉花も咲けば白い可愛いゝ鈴蘭も咲く、靜かなく

□禪房に茶 をすゝりつゝ閑古鳥の聲を聽くも面白からう、歸りはまた兩岸の柳をながめつゝ漢江を降るも一興であらうとの事である

◎救世軍の特別集會 四月廿日午後八時より永樂町二丁目の救世軍京城小隊にては朝鮮書記長官ホーン少佐岡本[illegible]より觀察の[illegible]集會を開き來聽を歡迎す

◎京城禁酒會演說會 廿九日午後八時より京城永樂町二丁目角より三軒目の屋內にて禁酒所京會員杜力君、平和の假裝教世軍大尉石島兼次郎君外に數名の禁酒の說ある筈

灯ともごろ

櫻の名所加五里と牛耳洞は昨今非常な人氣となつた▲加五里の櫻が寶生の結果いろ／＼な變種となつた事は已に專門家の言ふ如くであるがまた花の咲く時期も一週間ばかり打ちつゞく▲それで此の月末から綻び初めた櫻は五月旬まで花盛りを保つから三春行樂の場所としては誂へ向きの天地である▲加五里牛耳洞の櫻が斯くまで古くから保護されて居たのは獨り李朝の弓製造の原料となつたのみでなくまた櫻ん坊をとる爲めでもあつたらしい▲附近また蔴蓬の草摘みも面白く稻垣農場ではまた櫻細工の硯箱や茶器などをお土産に賣るとのこと兎に角白雲毫下の春はこれから愈よ賑はふであらう▲加五里附近は非常に溪流が淸く水源は藥水になつて居る學生諸君などは梅干握飯で出掛けて溪邊の岩石に腰を下して晝食を取るなどは好い趣向である

◎十萬圓を騙取せんとす

大阪市二[illegible]造(三十)上福島北一丁目生野芳松(三十)北區岩井町二丁目菓子商山田武治[illegible]上して[illegible]秀雄(四十)の[illegible]郎氏方に乘込み本出派に關聯せる選擧法違反事件の家宅搜査なりと稱して嚴重な家宅搜査をなし證據品にす[illegible]は二十五日大阪地方裁判所刑事第一部にて公判開廷事實の審問ありたる後檢事は之の事の犯罪は最も惜むべき[illegible]

[illegible]三日午後[illegible]時頃仁川警察署管內官[illegible]巡查[illegible]所に出頭し昨二十二日[illegible]金拂ひに苦しむ餘り虛僞の申立をなしたる事判明し二十四日仁川署に於[illegible]

[illegible]せたる漁船が警察に報じたるを以て時を移さず警備船神戶丸は現場に[illegible]

曇但少雨 四月廿九日 [illegible]

京城府岡崎町 須川商店 材木商 欅、樫、朴、桂、杉杢、松柾、鴨綠江材、各種 電話(龍)四三四番

料理の友 美味と滋養 五月號
◎上手な世渡りの道 ◎斯くすれば食事が美味しい ◎家庭に必要な飲み物の研究 ◎國產品の利用法 ◎疾病と食餌療法
▲節句の御馳走 ▲酒客向手輕なお料理 ▲卅錢會費の書齋向料理 ▲美味玉子料理六種 ▲柏餅と[illegible] ▲新蠶豆の料理 ▲衛生的な野菜料理 ▲有合せの材料で出來る料理 ▲お物菜兼用になる變り御飯の炊き方 ▲お物菜向西洋一品料理 ▲家庭的な日曜日の御馳走
一冊廿二錢 東京日本橋 大日本料理研究會

謹告
一金壹千圓也
右は故小倉正夫儀太陽生命保險株式會社と契約致居候處今般死去致候に付頭書の金額同社仁川代理店庄野仁川支店を經て受領致候間此段契約者各位に謹告仕候也
大正五年四月
仁川府宮町二丁目五十七
保險金受取人 小倉敏雄
親權者 小倉マツノ

かぜねつの最良薬
ハカリ印の ヘプリン丸
大阪田口ヘプリン丸改称
かぜねつに罹れる諸君はハカリ印のヘプリン丸を用ゐて全快せらるべし
●各地藥店にあり

リベツト ボールト ナツト スパイキ製造販賣
鐵鋼商 合名會社 中村商店
大阪市西區立賣堀北通六丁目
電話西一八四九番 電話西二九三三番 工場電話飾磨七四番

攝津灘 大塚釀造所吟製
京城本町二丁目 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五

澄宮殿下の新御殿

田母澤御用邸の構内に御新築

承る處によれば日光の御用邸は目下大修繕の御計畫中との事、元來日光と葉山の兩御用邸は兩陛下の夏冬との事實上の離宮で、此の夏も矢張り日光の御用邸へ避暑遊ばされる豫定、殊に本年は近々にお著初めを遊ばされる

□澄宮も御同伴 の筈なので宮內省では目下既に其の準備中であるが、葉山には直ぐ側の岩倉公別邸を澄宮の御殿に充てられたが、日光には其の御便利が無いので澄宮の御用邸を田母澤御用邸の構內へ新築の事と決し、既に先頃敷地の繩張り建物の構造、間取り等の設計も出來上り目下係官が經費の見積り其他の協議中で、遲くも來月早々工事に取懸る、葉山でも日光でも、至尊の行在遊ばさるゝ宮殿ではあるが、其の

□內外の御結構 の天然の風色や衞生上の設備の天下の善美を盡した事を外にして非常に質素を極めて居る、兩陛下の御座所、臣下への謁見所及び供奉臣下の各詰所などは必要止むべからざる範圍の建物のみに限られ、御座所其他の裝飾も何等華麗の點もない、唐紙の如きも葉山日光共に全く白一式で彩色を施したのは僅に日光御用邸の梅ノ間と申す二階建の一部に、金地に梅花が描かれてあるだけである、右樣の有樣であるから澄宮が

□御一緒に避暑 遊ばされる事となると、新に其の御座所を設けられねばならぬからである、之が本來ならば新御座所は御用邸の御構內に建增し夙に建築すべき豫定もあつた、然し地所の都合もあり、却つて別の御棟の方が宜しからうと云ふ事になつた、位置は今の田母澤御用邸の御內苑から向ふに續く外苑を隔てた直に田母澤川に架した小さな橋を渡つた所の、至上が常に御散策遊ばさるゝ遊園地の一部である建物は茲

□五六十日內に 出來上る程の極小規模な御座所と御附の者の控室其他御湯殿とか物置とか二三の必要な數室のみを具備した日本式である離宮にはならぬ葉山も目下御手入中であるが、是は日光と違つて御滯在の期間も長く且つ同所は元來英照皇太后の御用に出來て、其後今上が東宮の御時代の御使用に充てられ可なりに古びたり損じたりした點があるから

□日光に比して は大規模の御手入がある、然しそれも大奥の改造ではなく、必要な臣下廻りの各室を建增せらるゝのみである、何れ日光も葉山も、名稱を離宮と改めらるゝやの說もあるが、目下の所では、急に改稱の仰出は無いとの事である（東京）

□廣梁灣の鹽田から

□雨に亂打する半鐘□
□年二回の鹽田議會□

長さ十五六里に亙つて居る鹽田にはしく所々に見張番を置いてある此の見張番の役目は重に急雨の襲來と海賊の來襲とに備へて居る鹽田で一番怖しいのは急雨の來襲である殊に夏の夜の夕立などは最も危險である晝の勞れにグッスリと寢込んで居つて萬一此の急雨に遭ふものならば折角結晶しかけた鹽は溶解して始末にをへぬ水に成つて終ふし漸く鹹度の昇つた海水も淡くなつて終ふ

▼其の上驟雨に伴つて

▽奴濤でも押寄せ て來て何時海水が堤防を破壞したり乘越さないとも限らないそこで見張り番は雨が來さうになると其の附近の櫓の上に上つて半鐘を亂打するさうするとそれから其れへ各櫓で半鐘を撞き出す鐘が響き渡ると忽ち四方八方の鹽小屋から鹽夫がカンテラを提げて飛び出して來る星の如く火の子の如くに飛び交ふカンテラの火光は實に物々しく凄まじいものである中に半鐘は益々亂打されると云ふ有樣で恰度

▼火事場と同じ光景で

に駆け付けてそれ〴〵定まつて居るから各々自分の田の鹹水は之を鹹水溜に容れて屋根を蔽ふし結晶した鹽は大急ぎに掻集めて倉庫に收めると云ふ風にする、茲で一寸受持鹽田と云ふ事に就てお話しすると五千餘步の鹽田は八區に區分され其一區一區が又少區分されて居るその區分に就ては內地の五人組と云ふ樣な組合が設けて有つて出產死亡婚嫁と云ふ場合には專ら此の組合の人々が先立ちに成つて働くと云ふ風に成つて居るが仕事の上にも矢張り此の組合が助け合つて各自の受持田を立派に處理して行くと云ふ事に成つて居る斯う云ふ風にして朝鮮人の間にまでそれが自治的精神は自然に發達して沁み渡つて居るから彼等も他所で

▲よく見受ける樣に

▽陰日向があつて 見て居れば働く見て居らなければ遊ぶと云ふ樣な事は決してない從つて他所で鮮人人夫を使役する樣に叱咤したり鞭撻する樣な必要は少しもないそれで彼等も非常に悅んで鹽田の賃金は他の人夫賃よりも一割強安いけれども悅んで働いて居る彼等は他の勞働者は牛馬と選ぶ處がないが鹽田で働いて居れば如何にも人間らしく自分自身の仕事を爲し居るのと少しも變らないと云つて悅んで居る、鮮人さへ既に斯くの如き自治的である上に

▲更に面白いのは年に

▽二回宛鹽田議會 と云ふのが開かれる此の大會議に於て鹽田の社會的改善は議せられるのである此の會議の結果朝鮮人の賭博禁止案として私設鹽田巡警を置いて賭博を嚴戒し數犯に及ぶ者は解雇すると云ふ事に成つて居る其の效果は頗る見るべきものがあつて善良の風を成し附近村落までに感化を及ぼして居る

▲鮮人間の習慣も知れば

▽秋祭や春季運動 會の規模なども議せられる事になつて居る、話はまた見張番の事に戾る秋口に成ると雨は風を伴うて意外の大浪が外堤を襲うて來る樣な事が有る斯んな場合には一方に此に對する防禦を行うと同時に一方には水防に從事しなければならぬ鹽田の畦畔には所々に小山の偃起した樣に土俵が積重ねてある此れを以て打込んで來る浪を

▼防ぎ止めるのである

▽又海賊に對する 防禦は夜の滿潮の際にのみ限られて居るから其の防禦は比較的容易である鹽は陸上から盜まれるのは極めて僅少であるが滿潮に乘じて船を鹽田に著けて盜まれると跡から損害を被るので夜の滿潮の際には終夜外堤を見廻つて步く事になつて居る、凡て鹽田では雨が降れば休業である代り天氣でさへあれば日曜日も祭日も拘まはず働くそこで夏の旱魃の續く時などは鹽田に取つては頗る豐年であるが人夫連は骨休めの一雨欲しさに照々坊を拵へて雨を祈る樣な事も有る雨の休みには賃金を與へる事に成つて居る（つゞく）

●娼妓の足拔き 龍山彌生町遊廓彌生樓抱へ娼妓金彌事中島つね（二二）は二十三日午後五時頃馴染客と共に官憲の許可を受けず樓主に無斷にて同樓を拔け出し京城本町四丁目山中滿方に潛伏し居る所を探知せられ拘留處分となりたり

□筍のアチラ煮 筍を茹でより皮を剝きしものを、削りなりに千六本なりに切り、田麩に味淋醬油を加へ鍋に煮立て此の中にて筍をさつと煮こむ。これは何かの附合せ物にもちひます。

郎（三七）山安吉（四七）北區本莊浮田町製藥業山田清五郎（四七）町一丁目の五十萬圓長者白山善五郎（七）は詐欺、形事、變造補に紛し東區僞造行使、強盜未遂被告事件の公判は田中（目下豫審中）を除く他の六名

●強盜は眞赤な嘘 京畿道富川郡多朱面石里農辛文玉（三七）は廿……たりと……不義理の借……鮮人某の一漁船は午前十時半頃折柄の波浪の爲顚覆したるを附近に居合……慶尚南道北東部

商況

東京株式特電

受渡株數二十九萬八千百六十株此代金二千三百六十圓一株に對する平均値七十九圓八十七錢七厘

二十七日前場寄付 大引

日本郵船 京城電氣 鐘紡 同新 川本製 東株新 東株第一 東新第二 東新第一 東新第二

債券現物特電

二十八日前場値段（前日との比較）

東京 京城電氣 東洋拓殖 京城電氣 朝鮮興業 朝鮮銀行 兩鮮電氣

公債直取引特電

二十八日前場値段（前日との比較）

甲五分利 五分特 五分四分 一回四分 二回四分 甲五分 九五、〇〇

深川在米特電

二十七日現在高

鮮米	一〇九、八三一
臺灣米	八九、六二三
內地米	二〇〇、二一七

東京期米特電

廿八日前場六月限

寄付	高値	安値	止め
一四、四三	一四、四三	一三、九八	一四、一四

大阪期米特電

二十八日前場

	寄付	止め
當限	一四、六〇	…
中限	一四、〇九	…
先限	一四、五九	…

大阪株式特電

大阪三品特電

二十七日前場

四月限	二一二、九〇
五月限	二一九、七〇
六月限	二一八、二〇
七月限	二一九、九〇
八月限	二一八、七〇
九月限	二一八、〇〇

下關期米特電

廿八日前場 季節正米先れざる買氣き崩落

雜報

●大阪期米大波瀾 過般來高見の內動により一頭に百四五十錢を掛上し相場を出現せし大阪期米は此間相場の波瀾に連れて市場設計を極めしが爲見筋も其後益踊と見て強氣買募りに鑑り利拔きを爲し一時相場を騷ぎし再度の買筋は人氣を狙はんか稍々綠付利益を逃せり其の差額は……

●深川在米增加す 一時漸減を示したる深川在米も百九十八萬三千袋を最低度として其後又々漸增の姿となり二十八日の現在高は遂に

一二百萬臺に復せり之れ過日來相場の引緩りに連れ取引の減少せし爲買米の增加せしと同市場の賣行捗取らざる結果なり內地正米市價は今後と雖も深川在米の減り足遲かなるに至らざる限り米價の伸力を阻碍せらるゝ事は免れざるべしと

●軍隊米入札 二十七日龍山陸軍倉庫に於て行はれし軍隊米購買入札の結果は左の通り落札せり納期は精米共二十石口は七月迄に分納し其外は總て五月二十日中の納入となれり

玄米	六百石	一一、九五	龍山精米
玄米	五百石	一一、九五	同
玄米	五百石	一一、八九	田中商店
精米	五百石	一二、五七	今村米店
精米	五百石	一二、七〇	龍山精米
精米	五百石	一二、七五	龍山精米
精米	五百石	一三、三五	三井物産
精米	百廿石	一二、五〇	田中商店
大豆（百石に付）	一萬貫	一二〇、七三	
		三、八〇	龍田商店

●米餅氣乘皆無 米餅 最近神戶港へ輸入あり相場も同地の四圓八十錢を維持し居れば當地の

十七圓五十錢見當となり相當しては前回に比し非常の

常の下落を示せるも既に入荷期に近づきたる例年の本品需要減退季節に近づきたると今後變質の恐れもあり且つは前回の失敗に懲り居れる當業者は期節の入品を以て切上げ時と爲しつゝある際なれば此處神戶よりの新規商談には全く氣乘りなきものゝ如し神戶市場に於ても支那輸出も捗々しからざる模樣なりさいへば今後も

多少の入荷あるやも測り難し

●輕油は不振 輕油 日石寶田の兩社並に小倉其他の社外品は必要口相當に取引出來し居る模樣なるが內地發動機船用は不漁の爲め目下

先行不振の姿に陷り居れり小口ながら支那方面に輸出を行ひ居る振合なり去れど支那向け油輸出は下物にあらざれば不引合にて今後引續き注文に接するや如何は知る能はざれど價格の低廉なる條件は否定し難し

●洋傘の昨今 綿傘は對朝鮮人向として昨今漸次荷動きを增加しつゝあり本年は相場の尻上りにて約定時機を失したる向多く從つて移入も例年に比し非常に少なし目下折好く約綿納定を行ひし入品あるのみにて仕入時機を失したる向は全然本品の前渡を中止せる有樣にて持荷筋も諸品の爲め現在の持品一掃を以つて取引を切上ぐべき模樣なれば今後の入荷は殆ど見るべきものなしと

●明太魚小弛む 明太魚は一時產地惡況より錢安を傳へしが其後大勢の之に據はざる爲め最近に至り漸く反撥し昨今元山は十七圓三十錢を唱へ當地にては之と同等品にて十九圓五十錢位なりといふ商品は殘り少なからざる模樣なり

相場はヂリ〳〵引

●浦鹽鯡不勢 鯡は引續き元山方面に輸入多く從つて當地への影響も鮮しからず相場は目下元山の

二十二圓處を唱へ居るも矢張同値の取引なれば目下不引合ひなりといふ

下關相場

▲期白米も弱強し何分內地期米の割安なるに連れ自然買氣進まずして賣れ行きの鈍きしからぬ爲め市況活潑を呈するに至らず然れども何分期米の市況に連れ直地の相場も左まで強からず……

▲大豆は矢張手控し……

南大門の廻穀

期米の暴落に人氣安きも商內行はれざる爲め未だ確たる見當立ち難し

京城正米

▲釜山（二十七日の穀物）……
▲木浦（二十六日の穀物）……
▲大阪米……

仁川現物市場

▲期入津百七十八千袋 氣期米の暴落を受けて安人氣を唱へ居れり
▲正米入津三百五十石中白四十叺 氣配は大阪期米の大暴落にて安人氣を唱へ居るも一向商談行はれず
▲大豆入荷なし

仁川期米

▲二十八日前場 十九錢大暴落の入電

下放れ入電一節六十錢大

十九錢大暴落の入

電にて當地前場寄付は……大阪三節八十二錢と跳ね……

錢四節八十九錢と

行賀仲買店

仁川 電話 …

引返し移り

五節八十一錢と安移り

各地商況

利 仲買店

仁川米豆取引所仲買人

市場雜聞

▲前場下寄跡返す

▲十八錢と下放れ十一圓三

▲大混戰裡に下

▲跡電頻々たり

▲依然其常の利害を生

▲變動期に入る

▲大に買ふ

▲結局稍寄平

▲當限納會

十錢と迄縮少つた

▲最安値の十一圓丁度

▲無事納會を告げ

▲當限受渡高

仁川米豆取引所

二十八日の六月限

前場

平均値段

賣買取組高

小賣白米

二十七日後場前日比較

最上醬油
特許機械製 ほまれ味噌
絕對的品質本位
鮮滿醸造界唯一の名譽
於大正五年物產共進會
金牌受領
釀造元 仁川港
日本醬油株式會社
電話七五一番振替京城一七四番
京城出張所
電話二四五番振替京城五二三番

宮內省御用品 本品の眞價は既に社會に定評あり斯々の名稱を附したる……
スワン萬年ペン
到る所の文具店に目下販賣中
大阪平野町二丁目スワン大阪出張所

タングステン用 大マグネット 手廻搗 鑛山機械及其他 鑛山機具專門は中根商會 京城南大門通五 電話一〇四番

シズリは赤シ
赤風藥
定價 二十錢
引風發熱等
外造藥四十餘品各地藥店にあり

くすりは山岸
諸官衙御用達
洋藥 賣藥 醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町一丁目郵便局前
山岸天佑堂 藥品部 器械部

花柳病外科專門
梅毒 淋病 泌尿生殖器病
睪丸病 肛門病 皮膚病
婦人病 神經衰弱
六〇六注射 包皮其他手術
診察無料 入院隨時
京城南大門通農工銀行裏
司生堂醫院

模範紹介
醫師 代診 藥劑師 藥局生 看護婦 招聘
東京市本郷區本郷座前 電話下谷六一二八
合資會社 就職周旋交社

告京城分會員
來ル三十日總會ヲ開キ役員選擧ス午前九時半南山忠魂碑前ニ集合アレ
帝國在鄉軍人會京城分會

購買入札
印刷簿冊外八點
右購買ス詳細ハ四月二十九日以後ノ本府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

一、長湍地方金融組合登記事項中出資總口數參百八拾武口、拂込ミタル出資總額金四百八拾六圓ニ變更ス
一、麻田地方金融組合登記事項中出資總口數貳百四口、拂込ミタル出資總額金參百八拾參圓ニ變更
右大正五年四月貳拾六日登記
京城地方法院開城支廳

內科 小兒科 入院隨意
京城明治町（元壽學校隣）
中島醫院
院長 中島貞信
電話三七八番

比較は最良の選擇法なり
サクラ正宗
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番 振替京城五七番

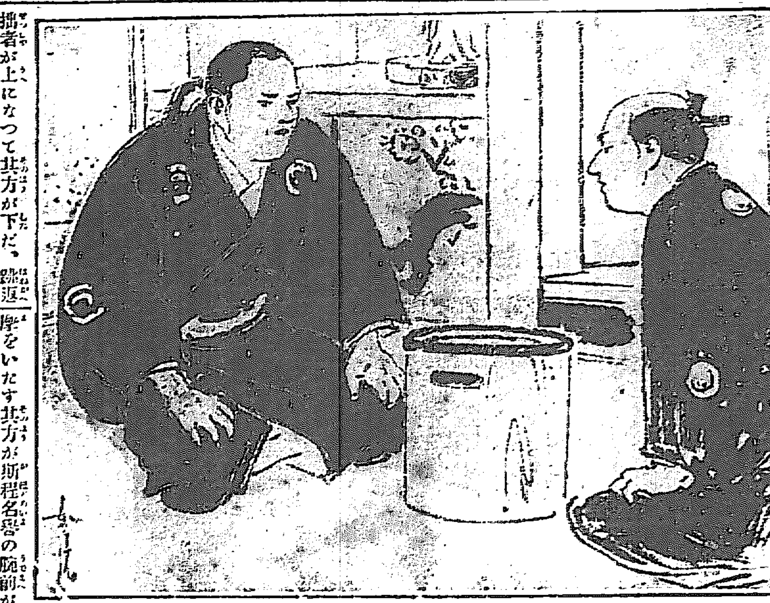
フェロール
美味にて藥り嫌ひに尤も適當
一杯一杯體に力を附ける
醫家適應 ●虛弱 ●老衰 ●貧血 ●病後 ●神經 ●消化不良 其他 ●凡の病人 ●低減期
本舖 大阪道修町 小西久兵衞
各藥店にあり
代理店 京城南大門通 新井藥房 / 京城太平通 木浦 / 釜山辨天町 大黑藥舖 / 元山港 石田濟生堂 安東縣市街 キムラ藥舖 木下藥舖 井上藥舖

宮本武藏

第二十二回

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

近所合壁の客は居堪れないから皆な飛出す、桔梗屋で又按摩が武士を喰つた噂を私めたといふので表は黒山のやうな人立、兩人上になり下になりコロ〳〵轉がつて居る、上へ乗つて押へ付けられて其儘では跳返せるものではない、足の拇指の先が疊の縁へ鳥渡かゝる、其を力にしてポーンと跳返す、暫らく同じ事をやつて居たが其中に宮本が上になり按摩を取つて押へて 武『サア按摩何うだ恐入つたか拙者の勝だ ○『拙者の勝もないものだ、俺の方が勝だ 武『嘘を吐け貴樣の首へ貼つて見せる ○『生意氣な奴だ、其では膏藥を遣るから貼つて見ろ』亦ドタン〳〵バタン始まつた、亭主は何うなる事かと氣を揉んで居る其中に宮本が 武『待てツ ○『何んだ 武『貴公は起倒流だな ○『さうではない 武『イヤ隱すな起倒流に違ひない起倒流だが拙者の知らん手がある、當時天下に於て起倒流を能くする人は紀州の家來關口彌太郎、今一人は肥前大村の領主大村丹後守の家來竹内加賀之介、此兩人の外にない然るに三州岡崎の宿に於て斯しき技



拙者が上になつて其方が下だ、跳返す事が出來なければ拙者の勝に決まつて居る ○『アハヽヽ其は可けない貴公先づ自分の首の周圍を檢めさつしやい何か附着て居るだらう』言はれて宮本が首の周圍を檢めて見ると右の襟に膏藥が一枚貼付けてある 武『何だ之は膏藥か ○『アハヽ膏藥を貼られて其を知らんといふのは迂濶千萬、どうだ俺の技倆に恐れ入つたか 武『何が恐入る、膏藥を貼るのが關いのか ○『解らんければ言つて聞せる、之が膏藥だから宜いが若し刄物であつたら貴公の首はモウ落こつて居るんだ、膏藥を貼られて其に心付かんければ首が失なつても分らんか 武『其は貴樣が卑怯だ、膏藥を貼る位の何でもない、拙者は膏藥を持つて居ない膏藥を持つて居れば摩をいたす其方が斯程名譽の腕前があるといふは不思議、抑々貴公は何といふ御人だ ○『アハヽヽ分つたか併し貴公も仲々の技倆感服いたした 武『拙者は小笠原右近將監の家來宮本武藏正名といふ者だ ○『ハア當時高名の宮本氏か、之は宜い處でお目に懸つた、拙者は貴公の御眼識に違はず元肥前大村の住人竹内加賀之介でござる 武『さては其許が竹内先生か、してどういふ譯で按摩などをして在つしやる 加『それは斯いふ譯で拙者御存じの通り起倒流の柔術を以つて指南番を勤めて居た處朋輩の申すには紀州和歌山に關口彌太郎と申す人がある、起倒流から出て關口流一名柔心流といふ柔術を工夫して名譽の技倆、竹内と關口とは何れが勝るだらうといふ評判、丹で拙者も關口に劣るといはれるは殘念であるからどうかして關口と一手立合をいたし優劣を定めたいと若が、へ、君公へお暇を願つて紀州へ乗込んで見ると關口が居ないどうしたかといつて聞くと先年肥後熊本の住人佐々木剣道齋岸柳と立合をして負けたを殘念に思ひ、之もお暇を願つて浪人したといふ、丹で拙者も落膽したが關口程の人でも佐々木に及ばんといへば未だ此の世間に名人上手は何の位あるか知れぬ、之れは俺も油斷は出來ないと考へたから三州岡崎へ來て按摩になつて往來の武士の肩腰を揉む所の導引と身を窶し、人知れず武藝を鍛練いたして居る、所が何れの武士も未熟にして取るに足らん今日圖らず貴公の如き武藝名譽の御方に面會いたしたのは何よりの幸ひ何うか以後は斷金の交際を願ひたい 武『イヤ夫は當方から望む所、天下名代の竹内加賀之介殿を斯樣な所で面會いたさうとは思ひも寄らん、夫に就いて只今お話しの關口彌太郎先生には拙者或處でお目に懸つた 加『ホー夫は不思議な話しでござる』時に宮本氏には何用あつて何れの地へお越しになる 武『されば實は是々斯々の次第』と一通り話しをする、加賀之介も聞いて宮本の決心を賞め、其晩は語り明して翌日別れを告げ、宮本此處を出立いたしたが之より尾州名古屋へ乗込んで參り、有名の山本源藏治と試合を致すお話

四月三十日九星

舊三月廿八日丁酉

本命一白北取亦口

[illegible]

動物の友 バシユーフライ ゴリユーム

●動物の蠅蚊其他害虫 ●室内の南京虫及び蚤退治

牛馬其他動物の蠅蚊害虫を驅除撲滅外襲を防ぐ 人體に無害 裝所に撒布 南京虫及蚤の巢來を防ぐ

米國シユーフライ會社 朝鮮支那特約代理店 大阪西區南堀江通五 牧野商店

朝鮮特約代理店 京城南大門通五 牧野商店

(呈說明書)

小兒科 内科 胃腸病

京城大和町三丁目(不老泉裏川端) 中谷醫院 電話一〇三三番

熊本醫學士 中谷益雄

演藝案内

御成座 電話一九一 [illegible]

黄金館 黄金町四丁目 電話二六三七 [illegible]

壽座 本町 電話五七八 [illegible]

大正館の特別寫眞

▲淺草藝妓の半生を脚色したる 現代實話 娘一代 全三巻

▲義士銘々傳 神崎與五郎

▲庄吉の幼年時代より主家の變事、東下り討入當夜の術聞、丑五郎泉岳寺墓參迄 松之助延一郎合同劇

▲探偵奇談 怪公爵 全三巻

浪花館 明治町 電話二六〇番

▲大阪女義太夫 團昇、伊達若、長春 合同大一座

○八日目(廿八日)語物 ●御祝儀實の入船(入登) ●玉藻前三段目(伊達春) ●梅野由兵衛 娘(達升) ●壺坂 八丈(長花) ●八陣八つ目(一昇) ●三勝半七酒屋の段(長春) ●御所櫻三段目(伊達若) ●十八番の内 鬢逆の飛脚(團昇) ▲三味線(鶴澤歌子)

▲毎日晴雨に不拘午後正六時開演仕可候

壽館 本町 電話一〇五〇

[illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三

[illegible]

▲現代實話「娘一代」全三巻二十七場

[illegible]

總裁大隈伯

今ヤ實業ノ天下也・實業ノ智識ナキ者ハ男ノ恥也・

實業之日本社

自宅在習自獨

實業講習録

中學程度の商業科目を教授す

通信教授の模範

一箇年にて終了す

入會金全免す

奬學金贈與の特典

小學卒業生歡迎

學校に入りて學ぶと同一の學力が附く講義録なり

會費一箇月五十錢

見本無代進呈

實業之日本社内

東京市京橋區南鍋町

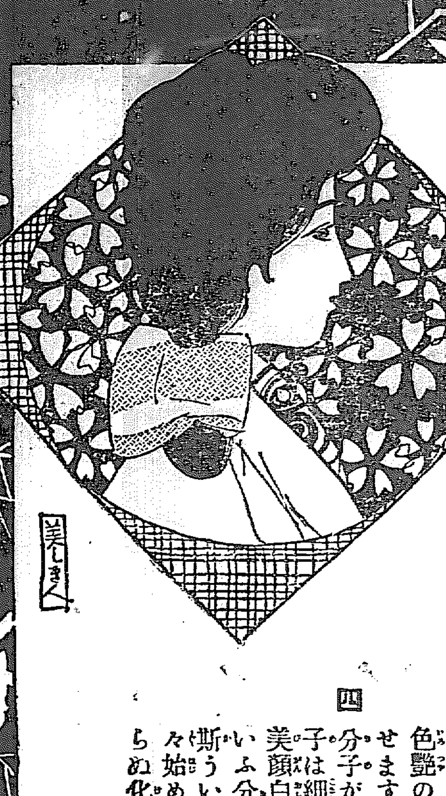
帝國實業講習會

振替口座東京四二六

學者の創製したる

美顏白粉

宮内省御買上品



生れつき色が白い やうな白さに附く譯

一 從來の白粉より遙に色が白いからです どんな白粉こでも比べて見れば分りますが、同じ白粉こ言つても、美顏白粉ほご色の白い白粉はありません。

二 極めて美しい光澤があるからです。既にほんこうの白さがある處へ、此美しい光澤が加はるのですから、美顏白粉のお化粧の色艶は、態こらしい色艶でなく、眞に迫つた色艶が出るのです。

三 被覆力が特に強いからです。被覆力が弱いこ白粉のノリやノビも悪く、殊に白粉の色艶を充分に現しませんが、被覆力の強い美顏白粉は、其眞に迫つた色艶の美しさを、其儘お化粧顏に現させます。

四 分子が極めて細いからです。白粉の分子は細い程ムラが無く附くものですが美顏白粉の原料には確に是以上無いこいふ分子の細い原料が使つてありますが斯ういふ次第で、美顏白粉は高貴の方々始め、上中流御家庭にゼヒ無くてならぬ化粧料こ言はれて居りますのです

醫學の見地に基き學理的に研究したる

桃谷研究試驗部

顧問 丹波敬三 藥學博士 山本醫學博士

專任 桃谷 小林 藥學士 藥學士 藥學士

東京 桃谷順天館 大阪

2.76.46

京城日報

第三版

廿九日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

櫻花號

○總統國事に與らず 一切の事務を前國務院に移す

黎總統は新內閣に政權を委任し自ら國事に與らざることゝなり內閣會議の際の如きも總統府內より退き居れるが一切の事務を前國務院に移したり(北京電報)

○梁士詒勢力偉大

新內閣は段祺瑞を中心とせる外裏面の勢力に梁士詒あり各部次官以下官吏十餘名の更迭に就て梁の乾兒にして採用せらるゝもの多し(北京特電)

○ヴェルダン戰と米紙

ニューヨーク、イーヴニング、サン紙は曰くヴェルダン地方の獨軍の攻擊は百回に及べるも其の結果は一個聯隊の攻擊と同樣極めて小なるものなり如何なる攻擊に於ても獨軍は多大の損害を蒙り擊退せらるゝが故少なくも其効果の三分の一は失はれたり(紐育電報)

○獨艦砲擊と英の損害

英國海軍省公報に曰く獨逸艦隊のロウエストフト、ヤーマウス砲擊は二十七日午前四時十分より始まり約半時間繼續せり敵艦隊の砲擊猛烈を極めし割合に我英軍の損害さして大ならず尤もロウエストフトにては游浴場埠頭及び住家四十軒大損害を被り住家二百軒小損害を被むれりヤーマウスの損害は大建築物一個燒失し他の一個は小損害を被れり(倫敦電報)

○獨軍潰走 モルトンムの攻擊

二十六日モルトンムに於て擊退せられたる獨軍の攻擊は六時間斷續せり敵は最初一個聯隊を以て襲擊を行ひ次で密集部隊を以て我砲火及び機關銃火を冒して猛襲し最後に燃燒液を用ひて約三十分間効を奏したるも遂に潰走したり(巴里電報)

○三線連帶運賃協定 六箇月間現狀維持

三線連帶運賃遞減に就ての鐵道院鐵道局、滿鐵の協議は既定十二品種即ち綿糸、綿布、綿布製品、陶磁器、鹽乾魚、帽子、生薬、昆布、煙器、氷、麻袋、ビールの奉天、長春、鐵嶺等に對しては安東、大連發直通約三割引、ローカル約二割引と云ふ現行の運賃遞減を五月一日より向六箇月間(十月迄)繼續し其間に於て更に充分の調査研究する事に決定せり(東京特電)

○汕頭港に碇泊

日本軍艦秋津洲は汕頭港外に碇泊せり(上海特電)

○支那公使 陸宗輿轉任說

目下歸國の途にある駐日支那公使陸宗輿は外交次長に任ぜらるべく駐日公使には李盛鐸新任せらる可し(北京特電)

○地方官更迭

二十八日地方官更迭左の如く發表されたり(東京特電)

貴族院議員正四位勳二等 木內重四郎 任京都府知事
清野長太郎 任兵庫縣知事
京都府警察部長從五位勳五等 永田秀次郎 任三重縣知事
秋田縣知事正五位勳四等 坂本三郎 任山梨縣知事
警視廳警視從五位勳五等 川崎卓吉 任福島縣知事
山梨縣知事正五位勳四等 添田敬一郎 任山形縣知事
兵庫縣內務部長從五位勳五等 小島源三郎 任秋田縣知事
三重縣知事從四位勳二等 馬淵鋭太郎 任廣島縣知事
從五位勳五等 阪田幹太 任愛媛縣知事
山形縣知事正五位勳三等 小田切磐太郎 任沖繩縣知事

依願免官
京都府知事 大森鍾一
兵庫縣知事 服部一三

休職被仰付
福島縣知事 堀口助治
愛媛縣知事 深町錬太郎
廣島縣知事 寺田祐之
沖繩縣知事 大味久五郎

○內務警察部長 廿八日更迭發表

二十八日內務部長警察部長の更迭發表ありたり(東京特電)

山口縣內務部長 野口淳吉 任警視廳警務部長
新潟縣內務部長 平塚廣茂 任兵庫縣內務部長
千葉縣內務部長 錦織幹 任新潟縣內務部長
香川縣警察部長 田中千里 任千葉縣內務部長
農商務省書記官 上田萬平 任靜岡縣內務部長
警視廳保安課長 長谷川久一 任岐阜縣內務部長
大分縣警察部長 田邊勝邪 任福島縣內務部長
福島縣內務部長 財部實彥 任鳥取縣內務部長
鹿兒島縣理事官 大賀健次郎 任山口縣內務部長
福岡縣警察部長 根本正雄 任香川縣內務部長
宮崎縣內務部長 稻葉健之助 任愛媛縣內務部長
東京府理事官 元田敏夫 任宮崎縣內務部長
靜岡縣內務部長 和田世民
岐阜縣內務部長 豐島愿
鳥取縣內務部長 和田潤

○三博士の叙勳

二十八日左記三博士に對し叙勳の御沙汰ありたり(東京特電)

鐵道院副總裁(支那政治聽聘中) 從三位勳一等工學博士 平井晴二郎
內務技監從三位勳二等工學博士 沖野忠雄
京都帝國大學教授從四位勳二等工學博士 難波正
叙勳一等授瑞寶章(各通)

○叙勳追加發表

二十八日左の如く叙勳追加發表せらる(東京特電)

香川縣內務部長 藤本充安
愛媛縣內務部長 前田秀實
命休職(各通)

正五位勳三等功四級 佐藤蔵次
正五位勳三等功三級 高木喜太郎
正五位勳三等 山路一善
敍勳二等授瑞寶章(各通)

○政務總監招待

目下上京中の山縣政務總監は二十七日午後宇佐川中將、倉富勇三郎、木內重四郎、大屋權平、德富猪一郎氏等在京朝鮮關係の諸名士を麴町區富士見軒に招待し晩餐會を開き快談に時を移せり(東京特電)

○司法官辭令

廿八日左の如く辭令ありたり(東京特電)

海州地方法院長 寺川三壽 補平壤覆審法院判事
平壤覆審法院判事 蓼原三雄 補海州地方法院長
總督府司法官試補 渡邊純 命釜山地方法院檢事代理

○田所海軍少將

佐世保鎭守府參謀長田所海軍少將は土肥中佐水落大尉を隨へ廿九日午後五時來著の筈(安東縣特電)

○國際鐵道會議

日滿支國際連絡運輸會議は既報の如く來る五月一日より開會の豫定にて委員一同は二十九日午前八時東京驛發臨時列車にて直通し五月一日午前六時五十分南大門著入京の筈にて安藤參事は出迎の爲め釜山に赴くべく會議は午前十時より日支聯絡會議を開き午前十一時半より東滿京奉聯絡會議を開く筈にて五月一日より直に開議するに至るべし

○古蹟調査委員

二十六日附を以て左の如く辭令あり

朝鮮總督府政務總監 山縣伊三郎 古蹟調査委員長を命ず
朝鮮總督府土木局長 持地六三郎
同 學務局長 關屋貞三郎
同 總務局長伯爵 兒玉秀雄
同 參事 淺見倫太郎
同 事務官 上林敬次郎
同 同 荻田悅造
同 同 澤田豐丈
同 同 郡山智
同 同 關野貞
同 黑板勝美
同 今西龍
朝鮮中島調查事務囑託 黑田甲子郎
史料調查事務囑託 鳥居龍藏
古蹟調查委員を命ず(各通)
朝鮮總督府參事官 小田幹治郎 古蹟調查委員會幹事を命ず
同 兒玉秀雄
同 事務官 荻田悅造
同 小田幹治郎
同 關野貞
同 黑板勝美
同 今西龍
博物館協議員を命ず(各通)
李王職事務官 末松熊彥
博物館協議員を囑託す(各通)
鮎貝房之進

◎朝郵今期成績 原田朝郵社長談

朝鮮郵船會社にては豫報の如く第四期後半年度の定時株主總會を二十九日午後一時より開會同期決算案を附議する由なるが原田朝郵社長は曰く本年三月末に至る當期の朝郵定期航路は命令私設併せて十六線

▲所有汽船 三十一隻一萬三百餘噸傭船二隻八百餘噸にして其の航海哩數延長三十五萬海里其の輸送貨物約十三萬噸船客十一萬一千餘人に達せり而して會社は設立以來方に四年を經過し逐次航路並に使用船舶の改善を計り殊に客年六月以降總督府命令航路を元山浦鹽線外十一線の近海及び沿岸航路に更改せらるゝと共に幾多航路の新設改廢を行ふて社業一段の進捗を示し其の效果今期に於て益々顯はれ而して朝鮮各地產業の發達に伴ひ海運の事愈々繁多ならんとし會社は堅實なる基礎の上に漸次しつゝあり又久しきに亘りし一般市場の不況は前期以來次第に恢復し且つ南鮮の米穀北鮮の大豆豐穣に海岸の漁業にして其の輸出の旺盛と共に亦地方の購買力を增加し一面浦鹽航路に戰時需用品の運搬多く山東貿易亦漸次繁盛となり其他滿鐵鐵道元永鐵道工事の進行等諸因相俟つて當會社本期營業の成績良好なるを得たるが要するに本期の營業成績は好況にして收支決算上相當の利益を收むるを得たり乃ち總收入七十二萬七百十八圓支出五十四萬九千七十三圓差引十七萬一千六百四十五圓にして此內より船價償却金及び

▲船舶大修繕 積立金九萬五千七百七十六圓建物原價償却金二百九十六圓を控除し益金七萬五千五百七十圓を得之れに前期繰越金一萬七千八百二十八圓を加へたる九萬三千三百九十八圓の內金三千七百八十圓を商法による準備金とし金一萬五千圓を役員賞與金に又金五千圓を別途積立金に而して金三萬九千六百圓を株主配當一株に付六十五錢即ち年七朱强とし金三萬十八圓五十八錢を後期に繰越したり

◎國際會議委員宿割

既に入京中なる支那側委員、五月一日入京の筈なる東淸、滿鐵、鐵道院側各委員及び隨行宿割は左の如く決定したり(左記中○印は隨行)

▲朝鮮ホテル (東淸鐵道)ルゲヴィクチ、ゲーシトル、タオフ、○ウエンストツク、○マクオキン(支那鐵道)フオーレー、譚國鼎、○金某、木下淑夫、三上良吉、曾木次郎、○高久甚之助、○中谷義一郎(滿鐵)庄司鐘五郎

▲巴城館 (鐵道院)大園榮三郎、西脇○岡本桂次郎

◎東京通信社員來社 東京通信社員岩本秀雄、水野秀、飛石久太郎の三氏は支那視察の途廿八日朝入京本社を訪問したり

人事消息

▲本田親英氏(代議士) 廿八日朝入京
▲今井清氏(鐵道院員) 大關局長隨行を命ぜられ渡支の途一日入京の筈
▲伊藤恒夫氏(同) 同
▲田中玄黃氏(平壤高等普通學校長) 入京中の處二十八日夜歸任
▲志村源太郎氏(勸業銀行總裁) 二十九日朝木浦より入京せし筈

南言北語

米獨問題は益々緊張して來て氣早の在獨米人は續々逃げ出しかけたらしい▲ホールウエッヒ宰相が駐獨米大使を長談議をやつて海軍々令部長など、大本營に詰めかけるなんて何だか物騷だが▲發起人の米國が何あに大した事はなからうと香氣に見て居る處はエライか弱いか恐ろしいのか▲支那では立派に段內閣が出來たが▲イザ借金となると誰れも相手にして呉れぬ▲如何に宙返りが上手でも相手なしの角力は獨では取れまい▲金が無ければ人並に花見も出來ぬ今日文無しで近中が出來るものか▲と云つて却て責任內閣の責任がなくなるので結局は安心かも知れぬ▲大正の川中島戰だとか大仰に喧されて居た長野縣の補缺選擧もトウド風間氏の勝になつた▲大分激烈な政戰であつたらしいが從つて珍談も其處等に澤山轉んで居るらしい▲東京から遙々應援に出掛けた副參政の小山谷藏君は遊說中倫敦から持ち歸つた命から二番目の毛布が紛失したので血眼になつて探し▲ブン／＼怒つて同僚には當り散らし演說は脫線すると云ふ始末▲一同も大に心配してヤツと探し出して見ると降旗元太郎君が醉つ拂つて持ち歸つた事が分り▲早速取り寄せて見ると古物屋の軒先でも見當らぬ程の古代物▲ヱヽ之れかいと指の先でつまんで一同開た口が塞がらなかつた相な▲暴う一とつおまけに松本の投票場から現はれた珍票にこんなのがあつた相な▲政友のをだてに乗つた旗本の飛んだ悲運におうた(太田)貧時▲太田貧時君は敗戰した政友派の候補者である

大阪期米特電(廿八日)

▲後場寄付十四圓八十五錢 ▲中限寄付十四圓二十二錢 △先限寄付十四圓八十五錢

▲後强保合 ▲現物界

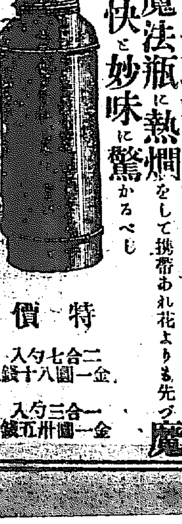
下關期米特電

五月限 二九、四〇 二九、九〇
六月限 二九、九〇 二九、五〇
七月限 二九、三〇 二九、九〇
七月限 三〇、一〇 三〇、四〇
八月限 三〇、九〇 三〇、九〇
九月限 三一、四〇 三一、四〇

進行方向北東▲警戒區域南西部▲東風强かるべし▲低氣壓位置揚子江口▲示度七百五十四粍

●●●花よりも 先づ魔法瓶●●●

加五里、牛耳洞の櫻花は今が見頃 上戶の方なら魔法瓶に熱燗をして携帶あれ花よりも先づ魔法瓶の愉快と妙味に驚かるべし



特價 二合七勺入 金一圓八十錢 一合三勺入 金一圓卅五錢

京城本町二丁目 熊平支店 電話長六二四番 振替京城二三

櫻の村へ

一目千本の加五里　牛耳洞と双壁の仙境

櫻の里、加五里牛耳洞の櫻花に醉はんと思ふものは三十日の

▲日曜を逸する勿れ

とは昨日今日花を訪ねて歸れる人々の口々に傳ふる所ならずや、樂しき一日の春與汽車にて行かんと思ふ者は南大門驛よりせば午前八時四十三分に、龍山驛よりすれば午前八時五十二分に出づる觀櫻列車に乘り込めば僅かに一時間足らずにして同九時三十分倉洞驛に著く、此驛より倚ほ牛耳洞迄は一里を餘すと雖も

▲加五里へは約半途

三十分を費せば女小供にても行かるべく春の野に草花摘みつゝ行く亦趣深きものあり蝶々の乙女子のリボンに戲かれて追ひ來るも面白し、歸りの汽車は午後四時に倉洞驛を發ちて南大門驛へ同五時五分に著けば、櫻花の下に逍遙す可き時間を五六時間としても

▲途中急ぐに及ばず

兇て裏北漢山の斷崖に眞紅の躑躅の點々たる漢江の中洲に立る楊柳の若芽抔は清凉里の淺緑と車中の眺め飽かぬものあるを倉洞驛を出でゝより半里の道は田の畔を傳ひ董切ふ野を横切り若葉の香強き林を縫うて進むことゝて足弱き老嫗にも少女にも疲れを忘れしめて餘りあり若其れ

▲健脚を誇る若き人

ならんには馬頭山裏を東小門に出で徒歩にて行くも快なる可し、改修されたる街道は坦々として綠の林、砂美くしき小川を過ぎ歩一歩陽春の氣の滿ち行くを思はしむ、時に歩み疲れて若草の上に腰を下し北漢山の峻峯を前にして行厨を開くも惡しからず、加五里へは二里牛耳洞へは三里往復に八時間を費すも倚兩所に遊ぶ可き時間は十分にあるなり

▲汽車には乘り後れ

たり徒歩せんには歩み遲き者を伴へりと云ふ人々は腕車を逞て同く此街道を走らすを得可く双輪の技に長けたる者ならばペタル踏みしめ〳〵疾走せんには一時間足らずにして爛熳たる櫻樹の下に達す可く、或は肥馬に鞭打ちて鐵蹄に輕く砂煙立てつゝ行く亦捨て難き趣きなる可し、倚ほ二頭立一頭立の馬車を驅るも可し自動車を走らすも働からず、勿論何れよりするも可なり足一度加五里の里に入らんか櫻林の美たるや朝鮮にては他に見る能はざる壯觀たるを失はず、奇峰互に嶮を競ふ三角峯の下溪流に沿ひて、咲き揃へる櫻林の一村

▲一目千本の語

も及ばず倚料亭を始め白き天幕に赤青の彩旗飜へせる茶店も數軒景勝の地を占て張られたる叉樹間に散花せる農家に砧打つ靑衣紅裳の乙女や花間に戲るゝ鮮童の面の晴やかに長閑なる一入春の平和を樂しましむるものあり、實に一日を割いて三春の行樂を求むるに足るの地はそれ櫻の里加五里なるかな牛耳洞なるかな

競艶

加五里の名木花冠櫻

朝鮮美人のお花見（加五里）

◉八幡製鐵所　貯水漏決

市中凄慘の光景

八幡製鐵所々屬貯水池東方の堤防二十八日朝漏水し製鐵所職工二百名警官消防夫等多數應急防禦に從事せしも終に十間餘決潰し八萬立方尺の貯水渦巻き流出し市中は見る間に一大洪水と爲り八幡町中央區一帶十五町に渉り浸水家屋二千戸に達し之れが爲め倒潰百戸溺死者九名行衞不明二三名を出せり猶洪水は電車及び鐵道線路を洗ひ何れも不通となり淒慘の光景を呈せり小倉より憲兵軍隊及び警官多數馳せ付け罹災者は學校に避難し炊き出しを爲す等大混雜中なり（門司特電）

◉掠奪暴民死刑に處せらる

江西省九江にて死刑に處せられしもの四名あり彼等は九江支那人街にて掠奪を行へるものなり（上海特電）

◉新民府に馬賊團現はる

支那新民府に馬賊團現はれ二十七師の騎兵二個大隊討伐に向ふ（奉天特電）

◉化石森林發見

日本では今回で二回目

東北帝國大學教授矢部理學博士、松本講師、青木理學士、新潟滋賀師範教諭一行は二十四日滋賀縣滋賀郡伊香立村大字下在地と大谷との間にある眞野川支流の上流に屬せる約半里の區域を探査した結果同川岸北向の崖にて高さ卅尺から百尺に達する砂粘土よりなる地層にて極めて珍らしき化石森林を發見した此の森林の樹種は杉の種類で中には直徑三尺高さ四尺許りの物もある、此の化石森林の周圍は目下一面の田圃になつてゐるが幾十萬年の昔には杉類の繁茂した土地であつたらうと認められる、由來化石森林は曾て仙臺市附近廣瀨川邊に於て僅かに五本發見されたことがあるが今回の發見は日本では二度目の發見だと云ふである（大阪）

◉日本婦人馬賊に殺さる

熊本縣人吉田いちと言へるはハバロフスク市外の一軒家にて支那人を夫として日本の醬油味噌を商ひ富裕に生活し居りしが數日前夫婦とも鈍刀にて慘殺され目星しき貨財を掠奪ひ去られしを翌朝水汲夫の發見する所となり屋內に印されし足跡に依りて馬賊の所業と認め同地警察は大檢擧を爲し市內の無賴漢を拘引して嚴重に審問中なるも倚ほ犯人不明なり併しイチの遺留財產は全部イチの姪に下附されたりと

◉渡り者は大賊

岡山縣津窪郡西阪村字西阪番地不詳通名山田吉右衛門事田中與吉（四九）は明治二十九年春より博徒の群に入り內地諸方及び靑島奉天浦鹽等を股に掛けて賭博に耽り居たる白者なるが昨年の暮朝鮮に流れ來り諸處を流浪中本月一日大邱元町一丁目時計商田子金一郎及び木村[illegible]店に忍び入り各種の懷中時計鎖メタル磁石等（此價格二百二十二圓八十錢）を窃取し一部を馬山の某鮮人に賣拂方を托して來仁し徘徊中仁川署の石川中島兩刑事に擧動不審と認められ引致の上十五日の拘留に處し取調中の處大邱警察署より逮捕手配中の者なる事判明し二十七日仁川支廳檢事局に送られたるが倚他に餘罪有る見込也（川）

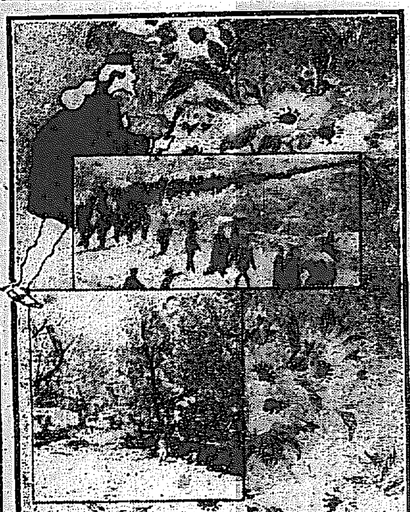
觀櫻の群（牛耳洞）

◉大活動寫眞來る

京城基督敎靑年會にては嚢に世界三大小說の一なるクオ ヴアヂス『何處に往く』の活動寫眞會を催し多大の好評を博したるが今回又泰西同劇の映畫となれる最近の撮影になれる輸入の封切物を得たれば來る三日より四日間同會館に於て一般の觀覽に供することゝなれり同寫眞は撮影時間四時間にも亘ること實に三十有餘萬呎にして作品の鮮明なるものなりと觀覽は切符を販賣することゝなり目下會員總掛にて盛に配布中なりと

◉檜垣夫人の出發

前京畿道長官檜垣直右氏夫人は既て家財引上げ其他の整理の爲め滯在中なりしが愈々二十八日午前七時五十分南大門發列車にて內地に向へり驛には兒玉總務局長夫人、松永京畿道長官、關屋學務局長夫人、宇佐美內務長官夫人、井口軍司令官夫人、國分司法部長官夫人、愛國婦人會員其他多數の見送り盛んなりき



觀櫻繪葉書（鐵道局發行）

櫻花爛熳の新仙境

加五里の花は

見頃と云ふ所です

牛耳洞　加五里

サクラビール

櫻ビール　一本二十五錢

御辨當二重折　二十五錢より四十五錢迄

其他殆んど原價同樣御注文次第に提供致します

加五里御花見の御客樣へ御便宜の爲め特設休憩場を設備致しました

お花見割引

牛耳洞行臨時汽車運轉

四月二十五日より五月七日まで

南大門、龍山驛より倉洞行往復切符發賣

二等　八十錢　三等　四十五錢

五枚以上の御申込に對しては南大門、龍山より早速配達す

四月三十日（日曜日）に限り南大門倉洞間にお花見臨時列車を運轉致候

ゆき	南大門發	午前	八、四三
	龍山發	同	八、五二
	倉洞著	同	九、三〇
かへり	倉洞發	午後	四、〇〇
	龍山著	同	四、五六
	南大門著	同	五、〇五

臨時列車は三等客車のみにて雨天の場合は運轉休止致

朝鮮總督府鐵道局

お花見に……お遊山に

跡に……跡に……

花の名所の牛耳洞に

御出かけの節は是非共

香味芳烈なる

サッポロ

アサヒビールの

御下命を願上ます

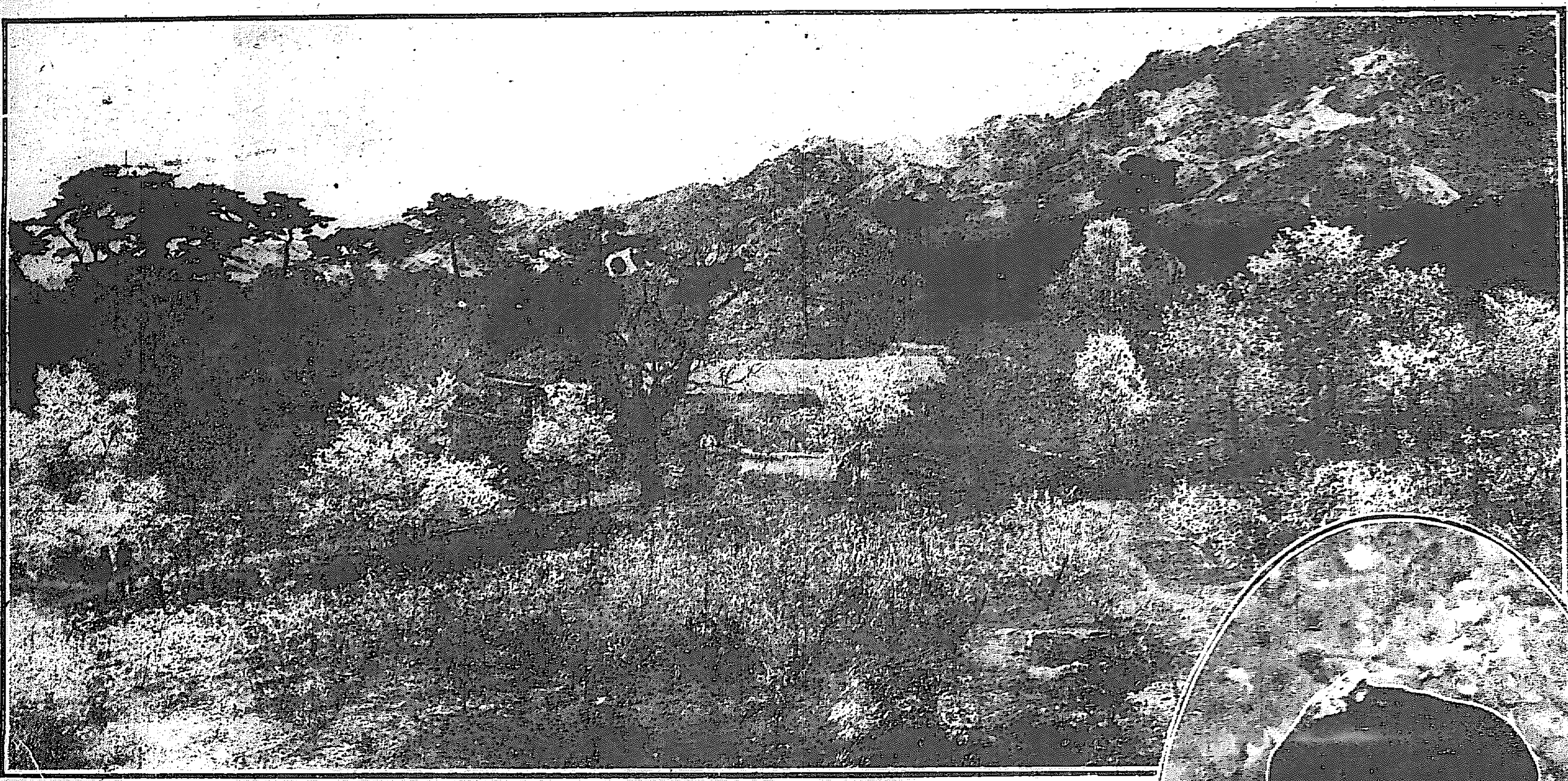
御便宜の爲め

幾多休憩所の

設備を致して置きました

牛耳洞

サッポロビール



櫻の里加五里

入らつしやい！加五里へ

双美

◉牛耳洞と加五里

舊い名所と新しい名所＝發見者と紹介者

たしか明治四十二年か三年頃の春時の京畿道警務部長と某る處で出合て四方山の話の末京城には桃や其他の花はあるが何うも櫻がないのは物足らぬ心地がする春は何うしても櫻がなければ春の心地がせぬと云ふと警務部長が「櫻と云へばたしかに櫻だが非常に澤山ある處がある僕の見たのは冬だつたから確實には斷言は出來ぬが頗る澤山ある處がある其れは北漢山の後ろで景色も大變佳い何んでも牛耳洞とか云ふ所だつたよ」牛耳洞、其の當時は耳珍らしく聞えた

■半信半疑 で兎も角も其翌日直に部長を訪うて道順を聞き馬を借用に及んで早速敎へられたまゝに東小門を出た心細いながらも馬を進めて居ると左方に櫻花爛熳とした紅霞山麓を纏る一村を發見した直に馬を其の村に走せると實に澤山な櫻で其れが眞ツ盛りである村人に聞くと牛耳洞！躍り上る程嬉しかつた一枝貰つて馬に結び付けて直に社に歸つて大々的に牛耳洞の紹介に努めた何でもない話だが之が始めて牛耳洞が社會一般に現はれた歷史で畢竟

■我社によつて 此の花の名所が世上に知られた譯だ勿論附近鮮人は知つて居たのであらうが牛耳洞が今日の盛況を呈する樣になつたのは我社の發見が大に與つて力ある事は異論はあるまい其から恰度大正二年の春牛耳洞を見物した我社同人はまだ隱れた花の名所があるかも知れぬと云ふ處から所々を物色して居た處がもと三井の竹内氏から加五里に櫻見に來いと云ふ案内があつた早速走せ參じて見ると之れは〳〵牛耳洞の比ではない櫻もズツと多く四顧の風色も一段好い翠松の間

■雪の樣な櫻花 がチラホラする所は實に何とも云へぬ故市原鮮銀總裁を始め居合せた連中一同云ひ合せた樣に牛耳洞よりは一段好いと云ふに一致した此の連中は其の後牛耳洞に行かずとも加五里へは必ず花見に行つたものだ其れから大正三年に我社が此の新名所加五里を世間に紹介した之れが加五里が世に出た初めで牛耳洞と云ひ加五里と云ひ妙に我社と因縁があるのも面白いではないか牛耳洞は發見の年が古い丈け既に世間へ櫻の名所として汎く知られて居るが加五里は紹介日尚だ淺しと云ふ處で未だ充分知らぬ人も多からう其處で吾人は何方をヒイキする譯ではないが此の新らしい名所―櫻の名所としては實に京城近郊無比の加五里を諸君に紹介するのである

●櫻デーには

此の樣な餘興がある

三十日の日曜日！櫻デー新名所加五里、ア、待ち遠い事！花見の外に何にがあるか……。行かう〳〵！

▼花の下で揮毫

落花を受けて香蔭の句

花見デーの餘興としては猶ほ朝鮮畫家の揮毫も行はれる、畫家は叢森と雁を以て有名な平壤の楊小石畫伯と共進會でお馴染の竹西女史の二人である、花の散る下、溪流のせゝらぐあたり記念の揮毫を試むるも亦一興であらう

▼名手の腕較べ

男士が競へる美人の助

三十日の花見デーに最も興味多きことは當日の朝鮮弓術大會であらう由來朝鮮では弓術は最も重んじられて弓とる人を射士或は閑良と稱し甲午前までは科擧の試驗を受けるにも是非弓を

▲射ることが必要 であつた、其の他一般紳士の遊びとしても弓は最も流行して居つた、然るに近來弓が筒に納まる太平の世となると共に此の趣味多き武藝も遂に廢れて顧るものもなかつたが這回此の弓術と關係深き加五里の里に弓の復活を見るのは至極愉快なことである、以前京城には鍾路を境として二つの弓の團隊があつた、即ち鍾路以東は射頭嚴後源氏の統率の下に上便と稱し鍾路以西は射頭權東鎭氏を頭に下便と稱して居つた、然るに今回の花見デーにはこれ等の團隊から朝鮮隨一の弓の

▲名手が集つて ハラ〳〵と散る花吹雪の下大に獨特の妙技を見せる筈である、競技は甲乙兩方から各選手が現れて一人五本の矢を放つ矢が美事標的に命中したときは左右に居並んだ美しい妓生が朝鮮の古例により勇士を讃た唄をうたふ……兎に角當日は朝鮮の古老まで打集うて其の妙技を試みる加五里の櫻は孝宗大王が北伐の軍を起した時弓の材料に植ゑたものである此因みある地に於て弓術大會は興味ある見物であらう

演藝

▲娘一代 大正館の今度の出し物は淺草藝妓の生れの本質物語を藤澤淺次郎關根達發一座が演じたもので其の筋は淺之助といふ男と相思の間のお花といふ娘が無慙の父のために某家の家に嫁入りしたが俠氣のある棟梁の勝三郎と藝妓のお蔦のために救はれるといふのである

▲黄金館 二十九日より全部新寫眞と差替へたりその重なるものは左の如し △實寫佛國キエラ公園の散策 △滑稽ヒンプルと女監獄 △新派悲劇女夫岩全三十八場 △泰西活劇電線美人 △教育參考史劇義經實記全五巻

▲御成座 二十八日夜の替り藝題は一番目々黒老談二番目子劇千本櫻通行なり

▲浪花館 竹本鶴昇一行の女義太夫は連夜滿員の盛況にて好評を博し居れり

▲龍糸淨瑠璃會 義太夫師匠君龍糸の門下連は二十九、三十兩日浪花館に於いて素人淨瑠璃會を催す出物目の語り物は左の如し △御殿儀（南北）△玉藻前三段目（一歩）△玉太郎出立の段（南大門）△鎌山又助内の段（泉）△堀川の段（曙）△柿背断ざんぶりこ（初弓三郎）△掬水）△御所櫻三段目（伊勢家三藏）△繊女勝若掛村（小隅軒）△太功記十段目（眞駒軒）△大切掛合本藏下屋敷の段（山若、鄰、掬水、小隅軒、勢三藏）

京日案內

普通（一回前金三十錢割引 匿名一回毎に金五錢増）
番外（一回前金六十錢無割引 匿名一回毎に金五錢増）

普通

雜誌廻讀會◉五月號著◉特典あり◉御報參上 京城本町一（電一三七八）松井松榮堂 112

△書籍類は報告類に至る迄取揃有候 京城本町二電二五二七ウツボヤ書店 236

▲朝鮮に關する古本無比高價買入弊堂の勉強是非御試驗を乞ふ御報即刻參上 京城本町（電話二七八一番）群書堂 120

◉女兒生後三十日血統正しく身體健なる者都合上他に讓りたし愛子家を望む 姓名在社

◉諸下宿 現今營業中の下宿都合により格安にて讓る希望の御方は來談 京城長谷川町一一三 中京館 298

各宗教經本類△全部取揃へ有之候 京城本町二電二三二七ウツボヤ書店

◉貸家 數棟低賃にて貸す 京城長谷川町五八番地 ゴルシヤルキ 290

番外

京城本町二丁目龜屋隣 宇治茶並に茶器 清心堂 電話二千五番 振替京城三五一八番 104

滋養 玄米乳 ◉東京化學研究所專賣店 ◉京城北米倉町（電話一五四七）▲迅速配達一合三錢 ◉玄米製乳合は市内に僞物あり御注意を乞ふ 113

京城吉野町一丁目元仲の新地遊廓跡 ▲內科 小兒科 雨森醫院（診察往診無料）114

朝鮮開城高麗人參 人參尾 御入用の方は京城南大門通二丁目一番地 共和堂藥房に御請求あれ（電二四四二番）107

重石水鉛買入 京城瑞麟洞 大菱商行 光化門郵便局（横川端）電話四八六番 108

電話開通 一四六二番 京城永樂町二丁目（東門通）◉エクロ組工事業（電略カミ）上山 ロクロヤ 109

開業 ▼浪花名物 粟おこし 本店大阪南區道頓堀中座前 京城櫻井町一丁目 戎商會分店 110

原籍武州八王寺 渥美德厚 二十四歲 右不都合の廉有之解僱す 京城明治町 榊 忠司 111

礦物定量分析 京城太平通二ノ一二五 坂元分析所 電話一三四四番 295

正確迅速 鑛物分析 太平町二の二三〇 朝陽分析所 278

京城本町二丁目元中島病院跡（入院隨意）胃腸呼吸器病專門 內科 兒科 山田醫院 電話二八八〇番 23

大和町一丁目（日の出橋下る）內科 小兒科 爲春堂醫院（電話九二八番）院主 古城 俶吉 26

家傳 りん病三日藥 輕症三日全治 服んで即日効驗ある不思議の妙藥 京城明治町二丁目四二明治旅館事務 朝鮮發賣元（電二〇三五）木暮ケイ 297

五月一日より五日間

戰亂の爲一般織物類
騰貴―仕り候へ共幸にも弊
店は安相場の時に

加古里の花と

仕入買置品多數取揃
格安―物豊富に準備仕り御
來駕御待申し居り候

夏物荷開き

皆樣の御引立に依店舗
擴張―と御禮働きの意味に
て破格の安賣仕り候

大安賣仕候

京城本町
◯一 丸一呉服店
電話六二三五番

千生瓢 (197)

須藤南翠作　筒井年峰畫

對陣（一）

秀吉の大軍大阪を發したと聞くや、松ケ島城の討手として嚴重に包圍してゐた、織田上野介信包、蒲生忠三郎氏郷、長谷川藤五郎秀一、日根野備中守弘就、瀧川左近將監一益、及び羽柴美濃守秀長、羽柴於次丸秀勝、長岡與一郎忠興、加藤作内光泰等は、松ケ島の圍を解いて、直ちに尾州にうち向ひ、近江國永原まで出張してゐた、三好孫七郎秀次、高山南坊友祥、中川藤兵衛秀政、氏家内膳正行廣等は、急ぎ軍を進めて尾州に南向し、續いて秀吉の本陣、旗幟堂々として進發する。軍勢無慮十二萬五千餘騎、野にも山にも立ち滿ちて、如何なる堅城鐵壁も、唯だ一揉みに踏み潰さるべく見ゆるのであつた。

斯くて秀吉は途中五泊を重ねて、美濃國鵜沼より木曾川を押し渡り、二十六日の午の刻に犬山城へ著いたのであつたが、爰に秀吉一流の早急主義を發揮して、其日直ちに諸將を引連れ、大物見に出張に及んだ。大物見とは、大將軍親ら敵狀を偵察する稱へである。秀吉は犬山を發して羽黑を過ると、池田勝入齋は、今猶歴々たる敗戰の跡を指し、面を赤うして敗戰の顛末を語り、其失敗を詫たのであつたが、秀吉は唯だ打首肯いたばかりで、少しも其敗轍を尤めようとはしなかつた。

進んで樂田から久保一色に至り、此處から小牧山の翠巒を望んだ時、乍ち馬を控えて、

「彼れは小牧山ぢやな。故右大臣殿清洲城御普請の砌り、要害良からぬ清洲は、唯だ此儘にさし措かれて、此より艮の方三里にある、小牧山に新城を築いて、御本城を定めさせらるゝやう、この秀吉御勸め申した事おざつた。美濃尾張の平原を制馭するは、彼山の外に要害はおざらぬ。家康は良い處を見立て居つたわ」と、暫し其方を眺めて居た。

此の一色を出外れる處に、一基の高札が建て居た。先驅の諸將は之れを見て、早速に引き拔いたが、さて其處置に窮して、如何はせんと評議して居た。其內に大將の馬が近いたので、恐る〳〵之れを捧げて、

「唯今此處に、斯樣な高札を立て置いておざりまする。如何計ひ申しませうや」と旨を伺つた。其高札には墨痕淋漓として、左の意味の文が認めてあつた。

羽柴筑前守秀吉、故右大臣殿の大恩を忘却し、義に背きて其君達に向つて兵を用ひる條、甚だ以て惡逆無道の至りなり。之に與する者は天罰いかで遁るべき。速かに逆を去り正に歸して、清洲城に來るに於ては、本領の安堵は勿論、忠功に依て恩賞を加へらるゝものなり。

三月　榊原小平太康政

秀吉の面色は見る〳〵中に朱を濺いで、眼を瞋し、齒を嚙むではつたと怒つた。

「憎き小平太が暴動ではあるぞ。この康政生きながら參らせた者あらば莫大の勳功、恩賞は云ふに任さうぞ。誰にてもあれ、疾く生け捕つて參らせよや」

斯う喝破すると同時に、高札を取つて地に抛ち、馬の蹄に踏み破らせて、小牧山の方をきつと疾視めば、源氏車の榊原が旗標、行春の風にうち靡いて、冷笑ふかと見らるゝのであつた。

小松寺より小牧原をうち過ぎて、東田中の村に馬を進めた時、また馬を立てゝ小牧山をきつと見た。やがて秀吉は莞爾と笑つて、

「小牧から馳け下るには、究竟の道筋ぢや。誰かある備中守兄弟を召せ」と申し付けた。

馬廻りの小姓馳け出して、後從に在つた日根野備中守弘就、舍弟彌次右衛門弘繼を具して來た。

「其許の勢二千を以て、小牧山の出口に備へゐやう、こゝに深き二重堀を掘らせ、堅固に柵逆茂木を結び立て、嚴重に守備致されよ。此事きつと申し付けるぞ」と、儼然として申し付けた。

日報俳壇　雄子郎選

雪解

山案内を賴み叩くや雪解の戸　潮外星
雪解島を出るや石舟野菜舟　同
雪解して稍居馴みし此家哉　青屑

春風

釣れぬ糸に戯こ浪や春の風　北星
春風やどこより入る家の煤　同
春風や賣人の媚をあざみ過ぐ　如泥子
春風や紬に寄れば魚の影　同
春風や脚下とどろく谷を見る　容峰
春風や少女抱き居る鵠白し　養朗
山と積む背の枯草や春の風　孤山
挨播へば匂ふ根株や春の風　雲[illegible]
鬪牛に血湧かす民や春の風　青眼子
集つて又散る鷄や春の風　秋汀

東風

東風寒く日入るを知らず遊ぶ兒等　扇城
東風吹く能の足ぶみ朗らかに　許我子

新刊紹介

●關西農報社の發展　關西農報が斯々の擧を揚げしより僅か二週年餘[illegible]數三萬四部を超過し[illegible]し思潮に投じ早くも發行部數[illegible]日本全國は勿論遠く海外に於て多數の讀者を有し好評嘖々其の內容に於て[illegible]而し價[illegible]廉なるは他誌の追く及ばざる所加之空論を避け實地應用的の記事充滿せるが故に斯道を學ぶものは勿論農家の實地耕作上に於る必讀の好誌なり

▲李少南書帖（友海岡蘭竹譜）　[illegible]

▲關西琵琶評論（六の五）（五月號）　[illegible]

▲日本一（五月號）　[illegible]

讀者の領分

家庭は人々の安息所にして靜穩に團欒の樂を享受するの所なりとせば夜中十時迄も十一時迄も毎日の如く合鼓の聲で受くるは正に家庭を亂さるゝものと思はるゝに仲介生の意見は赤兒の泣くに近所の迷惑なるべければ淨瑠璃の耳障りを避けんには其人自ら轉居を必要とすべし云々と云ふも赤兒の泣くは人類の性にして詮、淨瑠璃は主觀的娛樂なり自分の快を取らんが爲めに人の家庭を亂り人類の性を無視せんとするは亂暴の沙汰なるべし一旦合鼓の雷聲を聞く時は讀書出來ず思考叶はず遂に殆んど何物をも爲す能はざるは常なり又何んぞ赤兒の有無の故を以ての可否のみに止らんや故に曰く大聲は山に於て放つを可とすべきも人家稠密の裡に於て之を爲すは其害測るべからざるものあらん（世界の相撲生）▲WP生よ余も君に同感なり余は前週の土曜日午後散策に南山に赴き彼方此方を巡る中とある木蔭にM校生とG校生しかも双方共制服を著け睦しげに語し行く男女の姿彼等は余の後に目擊せるを知らざりしか憐れなる墮落、僕は思はず身慄ひした（龍山和田）▲京城本町の某商店では四月二十日より七日間洋傘賣出中買上の方に限り藤の花進呈の廣告をなしながら小生去る二十日二圓ばかりの洋傘一本購求せしに花どころか鼻も呉れはせんでした餘り安價の品を買ひし爲めか又は田舍者と見て取りしか兎角顧客に不都合な商店だ（仁川會社員）▲旭町三井なる名刺を持參し郵便局員と欺稱して或る欺僞を働きしものあり直ちに來りて謝罪せざれば正當の處置に出づべく敢て忠告す（但し四月十四日午後ヤランタ生）

▲優良種禽雛種卵　本年度營業案內御一報次第送呈す　各道廳各畜産組合御用達　京城西四軒町　獎忠壇入口　赤荻養雞場　電話二百十七番　振替京城三三七九番

法人登記
龍仁地方金融組合登記事項中出資總口數ヲ參百參拾參口、拂込ミタル出資總額ヲ金八百六拾八圓五拾貳錢ト變更ス但大正四年度末日現在ニ依ル
右大正五年四月貳拾六日登記
京城地方法院金良場出張所

購買入札
第一號　鉛止水栓外九點
第二號　送壁鉛引ソケット外拾貳點
右購買入札望ノ者ハ四月二十九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルベシ
大正五年四月二十九日
京畿道

一 貳拾五キロ發電機貳基（同附屬品共）
但入札保證金各自見積額百分ノ五以上
右競爭入札ニ付シ賣却ス希望ノ向ハ來五月九日當課ニ出頭現品熟覽ノ上同月十日午後一時迄ニ入札スヘシ但即時開札ス
大正五年四月二十七日
李王職會計課

牛耳洞觀櫻と
京春自働車商會
牛耳洞加五里行
自午前七時　乘客定員七人
至午後十時　貸切往復
京城水標町　松田壽男　電話二三八番

新刊書御案內
書名・著者・定價
英和個有名詞辭典　有明堂　二〇〇
怪塔　岩谷蓮石　四五
怪談小夜衣　春風高嗣　一七
一休の頓智　三芳屋　二五
小さき世界　武者小路實篤　一三〇
論語解義　前田哲明　特二〇〇
四書講義大學　宇野哲人　一二〇
受驗研究と新法　松岡文太郎　一一〇
岩石物語　渡邊貫全　二〇〇
苦心慘憺二人採偵　染井生譯　四五
中國鐵路現勢地圖　製　一四〇
朝鮮諸官廳受驗者必讀法律講義　坂上繁吉　特七五
朝鮮鑛業令　古川幸男　六〇
朝鮮鑛業出願者必携　斯道館　六〇
御即位式勅語述義　加藤咄堂　四五
自白生活　酒木稲子　九〇
死後は如何（自圍モーリス・マンテルリンク著）　一二〇
農村生活三十年　鈴原逸文　四五
二千五百年史　竹越與三郎　特一〇〇
少年團と青年團　森上幸三郎　八〇
照葉狂言　泉鏡花　五〇
水彩畫家　島崎藤村　五〇
京城本町　大阪屋號書店　電話一〇八六　振替京城三一五七番

日韓書房新版報告
佛心入道著　禪と膽力養成　定價八十錢　送料六錢
鈴木大拙著　禪の立場から　定價八十錢　送料八錢
牧野元次郎著　ニコニコ論語　定價七十錢　送料六錢
佐々木照山著　大雄辯學　定價一圓二十錢　送料十二錢
鹿子木員信著　永遠の戰　定價五十錢　送料六錢
京城本町二丁目　朝鮮電話一四一・二七五　振替口座五二一五番

京城永樂町二丁目（商品陳列舘裏門通）
酒井婦人病院
入院隨意
電話二六〇番

株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目（振替貯金京城一一番）
資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　九百參拾五萬圓
頭取　男爵　澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

●亞鉛鑛石高價買入
御照會被下候得ば最も御便利に御取引申上候
島根縣島市水主町
平尾雅次郎商店工業部買鑛課
電話（長限）二〇三番　二〇七番　九六三番　一九六番

代理店　京城黃金町二丁目九八番地　吉田謙造

內科小兒科　皮膚病花柳病
入院隨意
京城日出小學校前
多々見醫院
院主　醫學得業士　多々見五郎
電話九四〇番

●診察無料　●藥價低減
京城本町四丁目（櫻井町角）電話三二四番
七星堂醫院
院主　鈴木慶藏
醫師　垣田精一
醫師　淵上[illegible]

如何して出願の許可を得ん乎
出願者の福音
鑛區鑛種別分布圖添付
朝鮮鑛業出願者必携
新鑛業令に依る今日迄の出願數は既に千件を超へたり成効者果して誰乎
觀よ　有望なる實寓を發見しながら手續不備の爲め空しく他人の好餌に任す者敢ふるに遑あらず、此等の士は速に來りて本書を見よ
本書は新鑛業令並に同施行規則に依り鑛業の出願並に許可に關する萬般の手續方法及鑛業者の遵守すべき總ての事項を選擇なく說明したるものなり苟も鑛物を發見して鑛業の出願を爲さんとする者並に鑛業者の座右欠くべからざる書なり。
發兌　京城永樂町　斯道館　振替口座二八四番　電話一〇七一番
新形總布製金文字入　定價金六拾錢　郵稅四錢

ゴム底靴（便利丈夫）
學生吏員自轉車用旅行運動野球勞働用に適し足痛なく高評各階級に多大也特價
八拾五錢
送料四錢引替小包四十錢
郵券代用一割增不向の時は返金す振替京城三六九の大阪松屋町五一屋町日野商店

開業廣告
今般左記の處に開業し一般患者の診療に從事す
京城南米倉町（交番より約半丁南）
內科小兒科　岩崎醫院
電話二七六一番

●新荷著アンクル式片側懷中時計
[illegible]

インクレッシー商會
自轉車、洋酒、各國雜貨直輸入商
京城本町二丁目　電話九七二番

日本郵船仁川出帆
大連、太沽、牛莊行
相模丸　五月五日　正午出帆
[illegible]
仁川港町一丁目　堀回漕部

大阪商船仁川出帆
安東縣　四月　日
[illegible]

尼崎汽船仁川出帆
（群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行）
大正丸　四月　日
大有丸　五月　日
神代丸　五月　日
秀吉丸　五月　日
君が代丸　五月　日
仁川港町二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戶、大阪行
○元山、清津、雄基行
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
○門司、宇品、神戶、大阪行
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
大池回漕部

朝鮮郵船出帆
全羅丸・京畿丸・咸鏡丸　釜山發
平安丸・[illegible]　元山發
[illegible]
松原運送店

共同汽船仁川出帆
大共同丸　大連行
[illegible]
第一鳴鶴丸　城津、清津、雄基行
西湖津沿岸各港を經て雄基行
阿波國共同汽船株式會社（元山出帆）
京城取次店　河村運送店

商況
大阪三品
仁川米豆取引所
▲立會時間改正